

# 政策 20

～誰もが安心してスムーズに移動できるようにします～

## 後期基本計画における「めざそう値」等一覧

### 【めざしたい将来像】

誰もが安心して気軽に外出できる街並みを増やすために、人と自然にやさしい公共交通と道を整備することによって、いつまでも住み続けていたいまちを実現します。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	前期基本計画			現状値	後期基本計画	
	13年度	19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
道路のバリアフリー地区別完了率	—	—	—	—	13%	27% (4/15地区)
	—	6.7% (1/15地区)	6.7% (1/15地区)	5.9% (1/17地区)※		

### 【めざそう値(32年度)設定の考え方】

現在着手している2地区の整備完了を踏まえ、次期重点整備地区として2地区が追加指定されると想定し、計4地区の整備完了をめざす。

※平成23年度のバリアフリー基本方針改正に伴い、17地区に変更されました。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	前期基本計画			現状値	後期基本計画	
	13年度	19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
鉄道駅のバリアフリー化率(ワンルート整備率)	—	—	73.7%	—	100%	100%
	5.3% (1/19駅)	47.4% (9/19駅)	65.0% (13/20駅)	68.2% (15/22駅)		

### 【めざそう値(32年度)設定の考え方】

鉄道事業者の行う駅のバリアフリー化に対し支援を続け、対象となる駅全てがワンルート整備されることをめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
鉄道の混雑率(緩行電車)	—	—	165%	—	173%	150%
	209% (12年度)	179% (18年度)	171% (21年度)	169% (22年度)		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

鉄道の利便性向上のため、鉄道事業者へ運行本数の確保や編成数の増量を要望し、運輸政策審議会答申の長期目標である150%をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
鉄道の混雑率(快速電車)	—	180%	159%	—	175%	150%
	205% (12年度)	177% (18年度)	173% (21年度)	171% (22年度)		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

鉄道の利便性向上のため、鉄道事業者へ運行本数の確保や編成数の増量を要望し、運輸政策審議会答申の長期目標である150%をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
渋滞箇所数	—	26箇所	25箇所	—	25箇所	25箇所
	28箇所	26箇所	25箇所	25箇所		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

現在施工している主1-25号(三矢小台)の工事が完了し、渋滞の解消が見込まれることから設定した値をめざす。

# 政策20

## 誰もが安心してスムーズに移動できるようにします

### 1. 歩行者等が移動しやすくなります

#### 1. 現況と課題

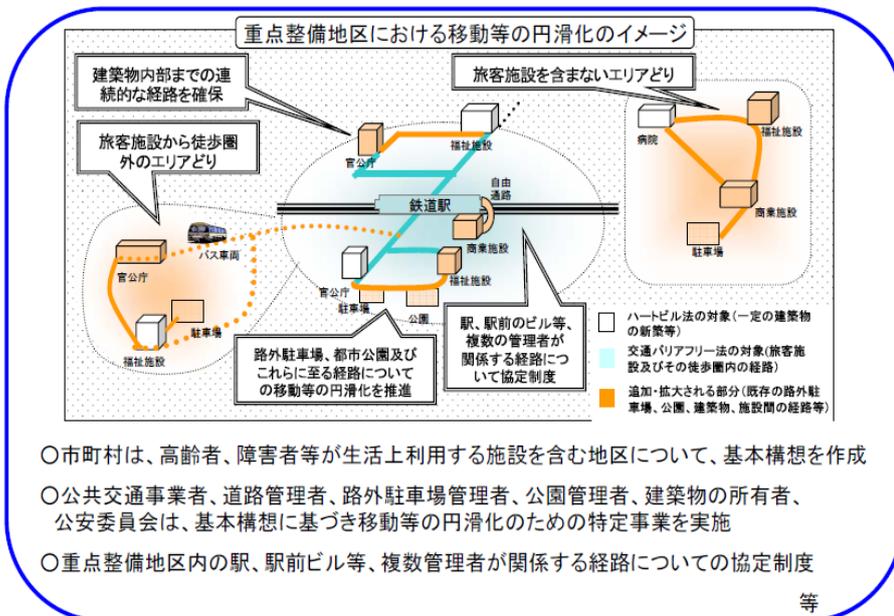
急速な高齢化が進むなか、高齢者や障害のある方々をはじめとして、誰もが安心してスムーズに移動できる歩行空間の整備が求められています。そのため、本市は、特定事業者（公共交通事業者、道路管理者、公安委員会）と重点整備地区2ヶ所（松戸、新松戸・幸谷地区）を中心にバリアフリー化整備を進めています。

#### 【特筆すべきニーズの変化】

- ・ 高齢者、車イス利用者及びベビーカーを使用する子育て世代は、安心して移動できる段差の無い歩行空間ネットワークを望んでいます。

#### ●重点整備地区における移動等の円滑化のイメージ

高齢者や障害者等の主要な移動経路となる駅、商店街、病院、福祉施設などの拠点を結び、バリアフリー化することで、安全・快適な歩行空間のネットワークをつくります。

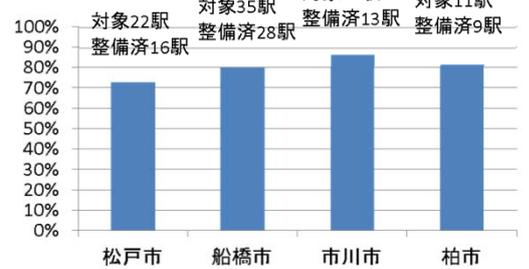


出典 国土交通省ホームページ

#### ●鉄道駅のワンルートの整備率の

他市との比較(平成23年度末)

ワンルート整備とは、ホーム階から地上(改札を經由)までの段差をエレベーター等で解消し、車いす利用者などが円滑に移動できる経路を対象駅に1経路確保することをいいます。(対象駅:1日平均乗降客数3,000人以上の駅)



出典 都市計画課交通計画担当室資料

#### ●市内鉄道駅のエレベーター等整備状況一覧表(平成24年10月末)

	JR 常磐線					JR武蔵野線			北総線			
	松戸	北松戸	馬橋	新松戸	北小金	新松戸	新八柱	東松戸	矢切	秋山	東松戸	松飛台
ワンルート整備状況	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
改札外	エレベーター	○東口	○東口 ○西口	○東口 ○西口	-	○南口 ○北口	-	-	○北口	○	○	-
	スロープ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	エスカレーター	○西口	-	-	-	-	-	-	△北口	-	○	-
改札内	エレベーター	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	スロープ	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
	エスカレーター	○	○	△	○	○	△	△	-	-	△	-

	新京成線						流山線			東武野田線		
	松戸	上本郷	松戸新田	みのり台	八柱	常盤平	五香	元山	馬橋	幸谷	小金城趾	六実
ワンルート整備状況	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	対象外	○
改札外	エレベーター	○東口	○北口	-	-	○南口 ○北口	○東口 △西口	○東口	-	-	-	-
	スロープ	-	-	-	○南口	-	-	-	-	-	-	-
	エスカレーター	○西口	△南口	-	-	△南口 △南口	○西口	○西口	-	-	-	-
改札内	エレベーター	-	○	-	-	○	○	○	-	-	-	○
	スロープ	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○
	エスカレーター	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	○

※○・・・障がい者対応、△・・・非対応

出典 都市計画課交通計画担当室資料

## 2. 施策の展開方向

「松戸市交通バリアフリー基本構想」に基づき、特定事業者が重点整備地区内の駅や特定経路等についての整備または整備着手をめざした「特定事業計画」を策定することを支援してきました。同計画により、引き続きバリアフリー化整備を進めていきます。

今後は次期重点整備地区を検討しながら、引き続き段階的に整備を計画していきます。

## 3. 施策を推進していく上での課題

市街地のバリアフリー化を進めていくためには、地域の理解と多額な財政負担を要します。

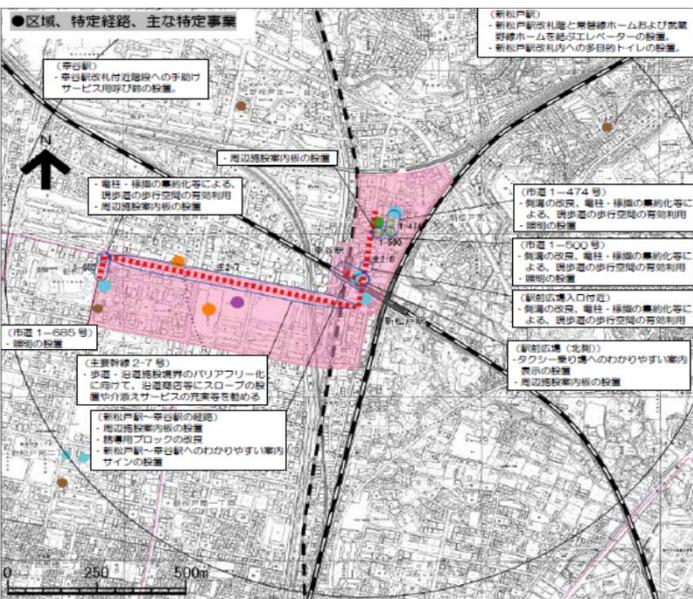
### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 松戸市バリアフリー基本構想と人にやさしい公共施設設計指針を策定し、整備を促進しています（強み）
- ② 今後、全ての地区をバリアフリー化するためには、大きな投資が必要になります（弱み）

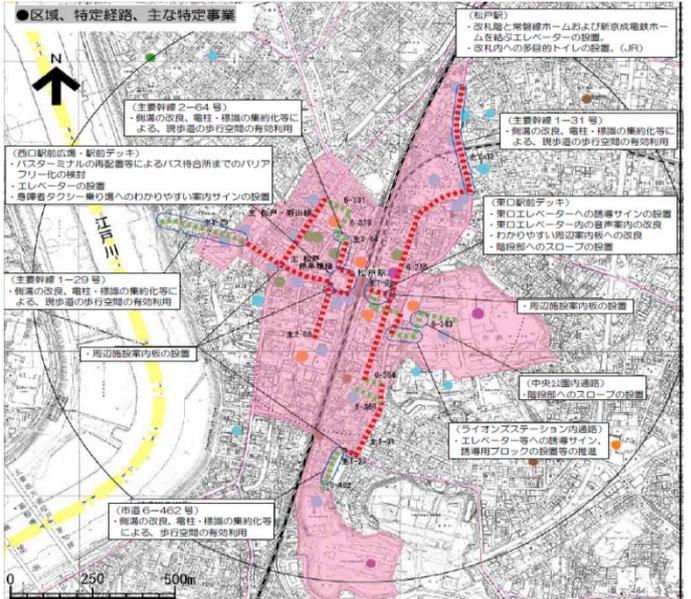
### ●松戸市交通バリアフリー基本構想の重点整備地区における特定事業の進捗状況(抜粋)

重点整備地区	特定事業（抜粋）	整備内容及び進捗状況
新松戸・幸谷地区	公共交通特定事業（特定旅客施設）	○JR新松戸駅バリアフリー化（H20年度整備完了） ・エレベーター設置（2基） ・エスカレーター設置（8基） ・障害者対応型トイレ設置 ・スロープ設置 ○流鉄幸谷駅バリアフリー化（H25年度整備着手予定） ・スロープ設置
	道路特定事業	○特定経路整備 ・新松戸駅～新松戸中央病院（H19年度整備完了） ・新松戸駅～新松戸支所（H19年度整備完了）
松戸地区	公共交通特定事業（特定旅客施設）	○JR松戸駅バリアフリー化（平成26年度整備着手予定） ・エレベーター設置（3基） ・エスカレーター設置（3基） ・障害者対応型トイレ設置 ○新京成松戸駅バリアフリー化（平成26年度整備着手予定） ・エレベーター設置（1基） ・エスカレーター設置（1基）
	道路特定事業	○特定経路整備【松戸駅西口】 ・県道松戸停車場線（H18年度整備完了） ・松戸駅西口駅前広場（H19年度整備完了） ・県道松戸野田線（H19年度整備完了） ・松戸駅西口～伊勢丹（H22年度整備完了） ・松戸駅西口～松ノ木通り～県道松戸野田線（H24年度整備着手予定） ・高砂通り（平成25年度整備着手予定） ・松戸駅入口交差点～江戸川土手（整備検討中） ○特定経路整備【松戸駅東口】 ・松戸駅東口～市役所駐車場入口（H20年度整備完了） ・市役所駐車場入口～中央保健センター（H21年度整備完了） ・松戸駅東口～松戸1388（H22年度整備完了） ・松戸駅東口～松戸中央公園（H23年度整備完了） ・松戸1388～戸定歴史館（H24年度整備完了）

#### ・新松戸・幸谷地区



#### ・松戸地区



# 政策20

誰もが安心してスムーズに移動できるようにします  
2.車で移動しやすくなります

## 1. 現況と課題

交通手段として車を気軽に利用する市民は増えており、国道6号や県道に接続する箇所及び狭小幅員の道路、路上駐車等が原因で渋滞が多く発生しています。交通渋滞は、移動時間を延長させ、快適性や安全性をそなうとともに、緊急車両の通行などに支障を来すことから、幹線道路をスムーズに移動できるようにし、住宅地に車が入りこまないよう、都市計画道路をはじめとする道路整備を行っています。

### 【特筆すべきニーズの変化】

- ① 幹線道路をスムーズに移動できるようにし、住宅地に車が入り込むことが無いようにすることが望まれています
- ② 高速道路までのアクセスを良くすることが望まれています

### ● 道路の整備状況(平成23年度末現在)

区分	実延長	舗装延長	舗装率
国道	17,432m	17,432m	100.00%
県道	55,079m	55,079m	100.00%
市道	1,102,039m	1,069,661m	97.06%
計	1,174,550m	1,142,172m	97.24%

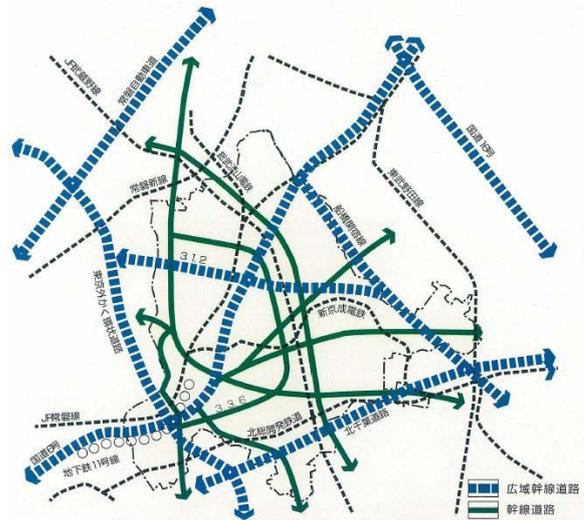
出典 松戸市政の概要

### ● 渋滞箇所の状況(平成23年度末現在)



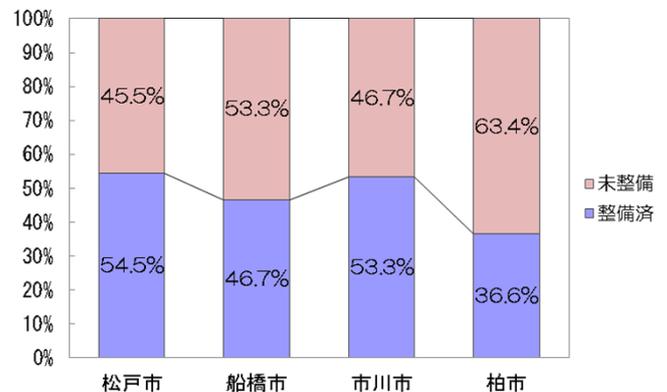
### ● 骨格的な幹線道路網

松戸市の骨格的な幹線道路網としての都市計画道路は、41路線、約119.2kmが位置付けられています。



出典 松戸市都市計画マスタープラン

### ● 都市計画道路整備状況の近隣市比較



出典 平成22年(2010年)都市計画年報をもとに作成

### 【参考】

内閣府が実施した「道路に関する世論調査」(平成18年1月)では、いつも通る一般道路で、車が渋滞しているところがあるか聞いたところ、「ある」と答えた人の割合が51.7%、「ない」と答えた人の割合が42.1%となっています。

いつも通る一般道路で、交通渋滞しているところが「ある」と答えた人(931人)に、その交通渋滞を解決するためには、「車線数を増やす」を挙げた者の割合が33.5%、「信号のサイクルを適切に調整する」(31.9%)、「交差点を立体交差させたり、右折レーンを設ける」(27.9%)、「バイパス(市街地を避けて通る迂(う)回路)や環状道路を建設して市内の交通量を少なくする」(26.2%)の順となっています。(複数回答、上位5項目)。

## 2. 施策の展開方向

市民生活に欠かすことのできない社会基盤として、道路の機能を確保するため、定期的に道路のパトロールを行い、計画的に舗装整備等を図っていきます。

また、交差点の改良などにより、渋滞の解消を図るとともに、都市計画道路の段階的な供用開始に向けて、整備に努めていきます。

## 3. 施策を推進していく上での課題

道路整備事業は用地確保に相当な年月を要するほか、補償費、工事費等の整備に伴う費用は膨大となります。そのため、財政状況が厳しい中で、事業着手できる路線は限られることから、短期間で道路整備を進めることは非常に困難であります。

### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 市内一円に道路網が整備されており、どこからでも幹線道路にアクセスしやすくなっています（強み）
- ② 高速道路のインターチェンジまでが遠く、遠距離の移動に時間がかかる要因となっています（弱み）

### ●都市計画道路の整備について

#### ・都市計画道路3・3・6号三矢小台主水新田線(八ヶ崎～二ツ木区間)

本路線は、市川松戸線（三矢小台地先）との交点を起点とし、国道6号を経て松戸野田線（主水新田地先）との交点を終点とする市内各地域を結ぶ環状道路であり、特定の道路への交通集中の抑制など、既存道路網に新たな機能を付加する路線です。

八ヶ崎～二ツ木区間の整備により、中心市街地への交通手段が選択できるようになり、車両の分散化が図られることから道路のネットワーク化が促進されるとともに、八ヶ崎～二ツ木地域の面的整備地区を連絡することにより、救急医療機関、消防の防火体制の確立や居住環境の向上が期待されています。



#### ・三矢小台地先交差点改良事業

平成19年度、松戸市区間の外環道路の一部供用開始に伴い、平成22年度に三矢小台地先交差点が改良されました。

なお、東京外かく環状道路千葉県区間の平成27年度全線供用開始に向け、市川・松戸両商工会議所を中心とした、「東京外かく環状道路（千葉県区間）整備促進市川・松戸市民会議」が平成19年3月に発足しました。

この市民会議は事業者である国土交通省や、地元自治体などと協力し、早期開通に向けて推進していく取組みを実施しています。

出典 道づくり課資料

#### ・東京外かく環状道路計画図(案)



出典 国土交通省 関東地方整備局 首都国道事務所ホームページ

#### ・都市計画道路3・4・35号和名ヶ谷紙敷線(和名ヶ谷～紙敷区間)

本路線は、松戸市内を縦断する環状道路である三矢小台主水新田線と横須賀紙敷線を結ぶ路線であり、既存道路網をつなぐバイパス機能を有する路線です。

事業箇所周辺では、秋山・紙敷地区の区画整理事業により人口が増加しており、今後も交通量の増加が予測される中で、主要地方道市川柏線等への交通が集中している現状があります。また、近隣には小・中・高等学校があり、生徒が和名ヶ谷紙敷線の現道部を通学に利用していますが、狭隘な道路であることから、通学には支障を伴う状況にあります。当該区間の整備により、地域住民の利便性の向上、通学時などの安全性の確保、また周辺道路の混雑緩和が期待されています。



#### ・矢切地区の整備イメージ



# 政策20

誰もが安心してスムーズに移動できるようにします

3.公共交通が利用しやすくなります

## 1. 現況と課題

松戸市内には、JR常磐線、JR武蔵野線、新京成線、東武野田線、北総線、流鉄流山線の6本の鉄道と、23の駅があり、都心へのアクセス及び市域内の交通ネットワークも充実した利便性の高いまちです。

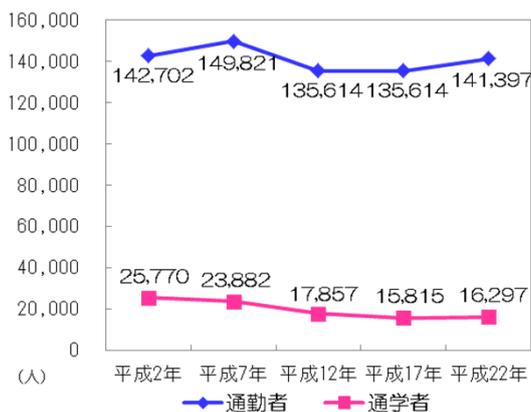
なお、この公共交通の結節点には、通勤・通学者、買い物客などの自転車利用者のために自転車駐輪場を整備しています。

一方、急速な少子・高齢化による鉄道利用者の減少や、つくばエクスプレスの開業等（平成17年8月）により、JR常磐線の混雑は解消されつつありますが、鉄道利用者の減少は、列車の運行本数の削減につながるなど、新たな問題も生じております。

### 【特筆すべきニーズの変化】

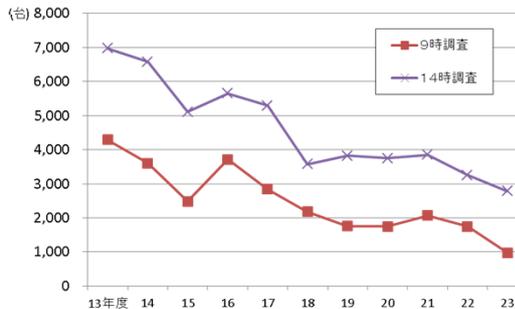
- ① 通勤通学時の公共交通の混雑緩和とスムーズな目的地までの乗り換えが望まれています
- ② バスや自転車を使って早く駅まで到着できるようにすることが望まれています

#### ●松戸市から他市への通勤・通学者の移動の状況



出典 国勢調査(「常住地で見えた通勤・通学者の移動の状況」をもとに作成)

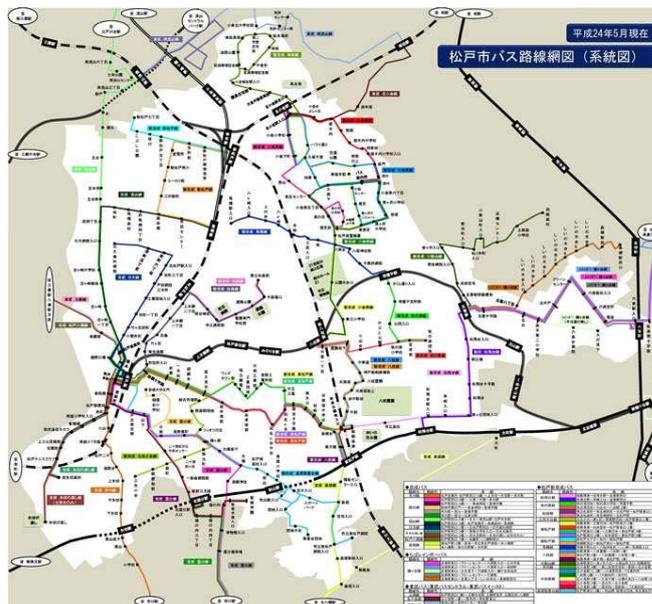
#### ●駅周辺の自転車・バイクの放置状況



出典 生活安全課 自転車対策担当室資料

#### ●松戸市内の鉄道とバス路線図

松戸市内には、JR常磐線（東京メトロ千代田線と相互乗り入れ）、JR武蔵野線、新京成電鉄、東武鉄道、流鉄、北総鉄道の6本の鉄道と23の駅があります。路線バスは主要な駅に乗り入れ、公共交通の利便性の高いまちとなっています。



出典 松戸市ホームページ

#### ●自転車駐輪場設置状況

(単位 箇所)

駅名	市営	民営
松戸駅	9	5
北松戸駅	3	5
馬橋駅	4	19
新松戸(幸谷)駅	15	2
北小金駅	9	2
小金城址駅	1	0
上本郷駅	0	2
松戸新田駅	1	0
稔台駅	1	0
八柱(新八柱)駅	5	1
常盤平駅	4	1
五香駅	4	7
元山駅	1	15
六実駅	2	3
矢切駅	3	0
秋山駅	2	0
東松戸駅	0	2
松飛台駅	1	0
合計	65	64

出典 生活安全課 自転車対策担当室資料

## 2. 施策の展開方向

鉄道については、鉄道駅のバリアフリー化などの支援、運行計画や運行本数の確保等に向けて、国土交通省や鉄道事業者等関係機関に働きかけて利便性の向上をめざしていきます。また、JR常磐線の東京駅乗り入れにあたっては、市民の交通利便性を高めるため、沿線自治体とともに、JR東日本と協議していきます。

バスについては、ノンステップバスの導入補助やバス回転所の確保等、必要な支援を継続するとともに、沿線の宅地化や幹線道路の整備による新たなバス需要に対応するため、関係機関に対し、路線変更等に向けた働きかけを行うなど、市内バス路線網の確保・維持・改善に向けた取り組みを行っていきます。

放置自転車対策としては、各駅に自転車駐輪場を整備し、市内16駅周辺に、放置禁止区域を設けています。今後も、放置自転車防止指導員を配置し、啓発を続けるとともに、放置禁止区域内に放置された自転車を移送保管し、駅周辺の安全な歩行空間を確保していきます。

## 3. 施策を推進していく上での課題

少子高齢化等の影響により、鉄道や路線バス等の公共交通機関の利用者は減少傾向にあります。

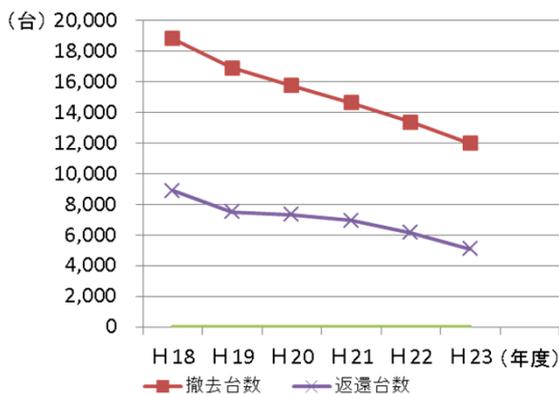
こうした利用者の減少は、運行本数の削減など、輸送サービスの低下につながる可能性があります。

午前中の通勤客による自転車の放置は減少してきていますが、午後の買い物客による放置自転車は依然として多いのが現状です。

### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 市内に6本の鉄道路線と23の駅及び約250のバス停があり、公共交通の利便性の高いまちとなっています(強み)
- ② 路線バスが乗り入れることができない駅など、公共交通の結節に支障があるところもあります(弱み)

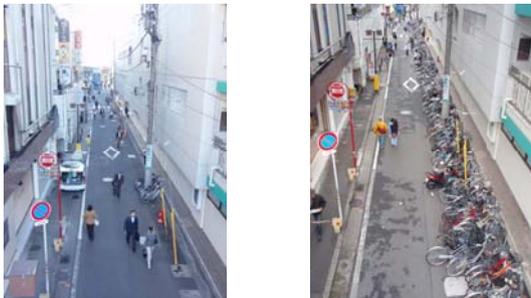
### ●自転車の放置防止の取り組み



出典 生活安全課 自転車対策担当室資料

### ●放置自転車の状況

下の写真は、自転車が放置される前後の状態を比較したものです。自転車が放置される以前は、歩行者、車両の通行に支障がないことが分かります。自転車の放置はやめましょう。



【写真】松戸駅西口・ボックスヒル脇道路

### ●成田スカイアクセスの開業(H22.7.17)

成田スカイアクセスは、京成電鉄が新たに京成高砂～印旛日本医大～成田空港間で営業を開始し、スカイライナー、アクセス特急を運行する路線であり、都心と成田空港間のアクセス改善(最速51分→36分)を目的としています。

本市においては、開業によりアクセス特急の東松戸駅停車が実現し、東松戸駅の利便性の向上及び地域の発展に重要な役割を担っております。

- ・東松戸駅→成田空港駅 最速31分(平均43分)
- ・東松戸駅→日本橋駅 平均26分(△11分短縮)
- ・東松戸駅の輸送力 アクセス特急により約3割増

出典 都市計画課交通計画担当室資料

### ●ノンステップバス

ノンステップバスは、床面を超低床(概ね300mm以下)にし、乗りやすい構造になっています。

また、車いすでご利用の方にはスロープ板を設置し、車いすのまま乗降できるようになっています。



乗降口の幅を広くとるとともに、中扉にスロープ板を設置し、車いす使用者もスムーズに乗降可能



車内に車いすスペースがあり、車いす固定装置が装備されている



出典 松戸市ホームページ

# 政策 21

～安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにします～

## 後期基本計画における「めざそう値」等一覧

### 【めざしたい将来像】

清流と豊かな自然環境の保持に向けて、浸水被害を少なくし、川に親しめるような整備をすることで、川辺が市民の憩いの場となることを実現します。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合(再掲)	—	25.0%	22.0%	—	21.4%	25%
	21.1%	22.7%	20.6%	22.0%		

### 【めざそう値(32年度)設定の考え方】

4人に1人が満足することをめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
流域整備面積率	—	—	—	—	59.7%	61.1%
	54.6%	57.4%	58.1%	67.8%		

### 【めざそう値(32年度)設定の考え方】

現況の整備面積より189ha増をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
BOD(75%)値(国分川水系)	—	—	10mg/l	—	10mg/l	10mg/l
	15mg/l	8.6mg/l	9.4mg/l	9.2mg/l (H23)		

### 【めざそう値(32年度)設定の考え方】

真間川流域水循環系再生行動計画に基づく目標値(10mg/l以下)をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
水質基準達成率(国分川水系BOD)	—	—	100%	—	100%	100%
	37%	75%	100%	100% (H23)		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

良好な水環境を日常的に確保するため、観測値全てが真間川流域水循環系再生行動計画に基づく目標値(10mg/ℓ以下)をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
BOD(75%)値(坂川水系)	—	—	5mg/l	—	5mg/l	5mg/l
	5.9mg/l	5.1mg/l	3.9mg/l	5.3mg/l (H23)		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

清流ルネッサンスⅡ(第二期水環境改善緊急行動計画)に基づく目標値(5.0mg/ℓ以下)をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
水質基準達成率(坂川水系BOD)	—	—	100%	—	100%	100%
	45%	66%	100%	92% (H23)		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

良好な水環境を日常的に確保するため、観測値全てが清流ルネッサンスⅡ(第二期水環境改善緊急行動計画)に基づく目標値(5.0mg/ℓ以下)をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
河川利用イベントの参加者数	—	—	—	—	22,000人	22,000人
	—	10,395人	4,300人	1,000人 (H23)		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

過去の結果を勘案して最も高い数値を上回ることをめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
下水道利用率(下水道利用者数/市内人口)	—	—	76.30%	—	78%	85%
	62.17%	72.26%	74.83%	76.20%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

下水道利用率、前年度に対して概ね1ポイントの増をめざす。

# 政策21

安全な川に整備し、きれいな水とふれあえるようにします

1.水害を少なくします

## 1. 現況と課題

本市における河川は、江戸川に沿った低地を中心とする坂川流域、市川市を下流域とする真間川流域、手賀沼を下流域とする手賀沼流域の3つの流域に分かれています。過去の大雨では、坂川と新坂川に挟まれた栄町・西馬橋地区や長津川沿いの中和倉・新作地区、前田川沿いの八ヶ崎地区、国分川沿いの大橋地区、春木川沿いの日暮地区などで浸水被害が発生していましたが、河川や排水路の断面積を広げる改修事業により、年々浸水区域も減少しています。

これまで、基本的に1時間50mm程度の降雨を想定して対応しておりますが、近年、突発的な集中豪雨による浸水被害が発生しており、更なる排水路の整備が望まれています。

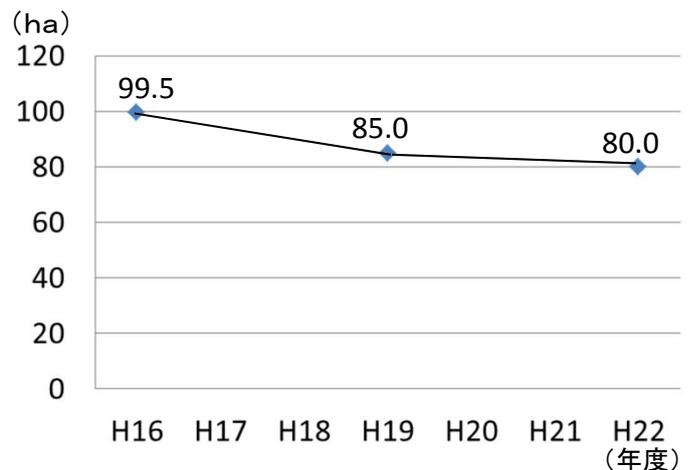
### 【特筆すべきニーズの変化】

- ① 浸水被害の恐れのある地区が、集中豪雨に見舞われても、浸水被害が起きないようにすることが望まれています（ニーズの増）
- ② 集中豪雨のときでも、幹線道路は安全に移動できるようになっていることが望まれています（ニーズの増）
- ③ 浸水被害エリア以外の住民は、浸水被害対策への関心が低くなっています（ニーズの減）

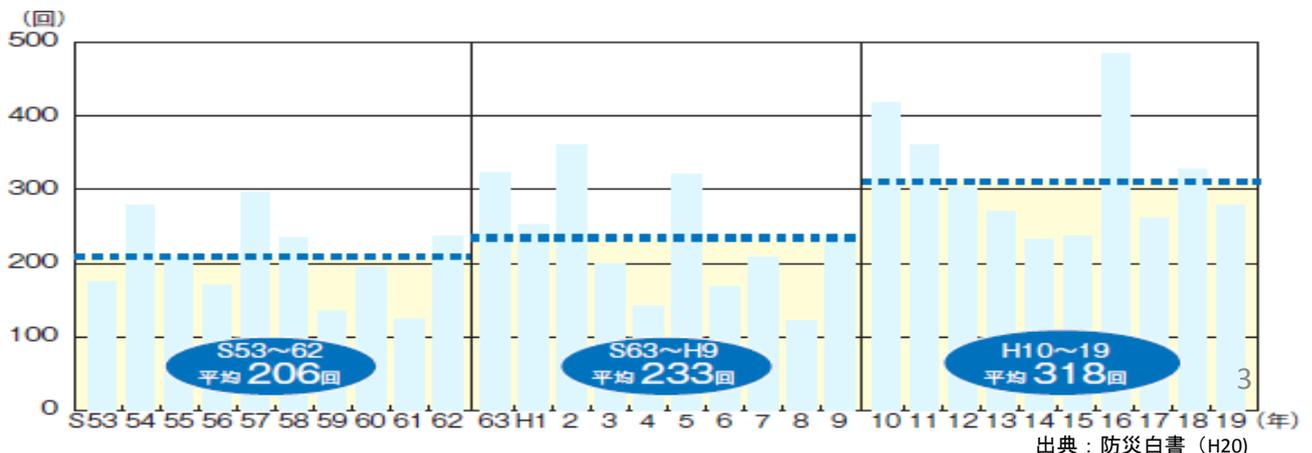
●松戸市の河川流域（全体：61.33Km<sup>2</sup>）



●浸水面積の推移



●1時間降水量50mm以上の降水の発生回数



## 2. 施策の展開方向

浸水被害常襲化地区の水害の軽減を図るため、河川と排水路の計画的な改修を行います。

市街地における雨水対策については、放流先河川の改修事業と調整を図りながら、浸水被害常襲化地区、および計画的な開発が進められている地区を中心に治水対策を推進します。

近年、都市における局所的な集中豪雨がみられ、その浸水対策が必要となってきました。

河川や排水路などの整備を推進し、保水や遊水機能の保全に努め、治水安全度の向上を図ります。

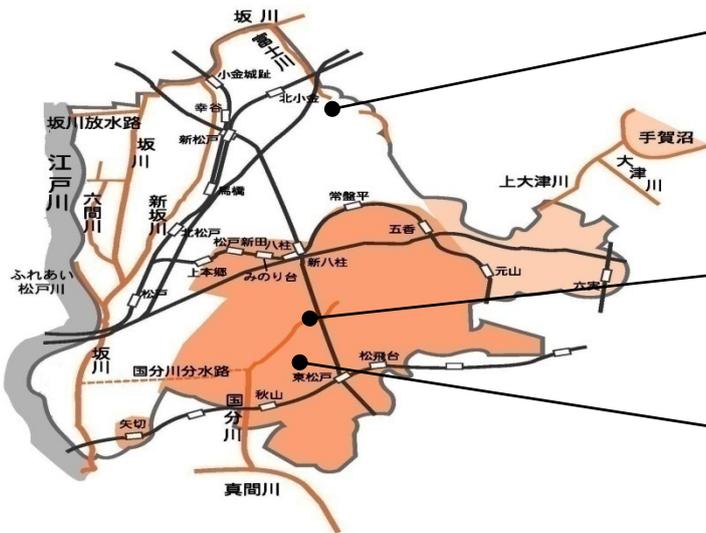
## 3. 施策を推進していく上での課題

河川・排水路改修は、施工時期が11月から翌年5月までの少雨期に限られるため、1会計年度内では進捗が上がらず、また、施工延長が短いことから、工事費が割高になっています。そこで、継続費等を用いて年度をまたいだ工期設定により、効率的に整備することも考えられます。

### 【特筆すべき松戸の強み】

- ① 雨水貯留池や学校のグラウンドを利用した貯留施設などの施設整備と一般住宅への雨水浸透ますの設置指導などにより、降雨の急激な河川への流入を軽減する対策が進んでいます（強み）
- ② 河川や排水路の整備が進み、一定の降雨量に対しては、被害が少なくなっています（強み）

### ●上富士川上流排水整備事業・春木川、紙敷川排水整備事業



出典：松戸市のホームページ



整備された上富士川上流水路



整備された春木川



整備された紙敷川

### ●雨水貯留池一覧

No.	名 称	貯留量 m3	貯留池面積 m2	No.	名 称	貯留量 m3	貯留池面積 m2
1	ユーカリ交通公園	17,600	6,399	22	根木内東	1,781	457
2	高柳新田	31,700	7,540	23	中和倉寒風沖	144	36
3	小金きよしヶ丘	2,000	831	24	高柳中島込	171	127
4	第六中学校	6,700	2,193	25	中和倉寒風	196	70
5	栗山	2,900	490	26	関台	14,000	4,135
6	神田川上流	12,000	2,000	27	松戸赤発毛	145	67
7	八ヶ崎	300	61	28	牧の原1丁目	1,190	400
8	小金原鉄塔線下	5,000	1,050	29	幸谷ポッケ	162	40
9	牧の原	23,000	12,140	30	高塚新田北谷台	588	260
10	原の山	300	152	31	和名ヶ谷東台	400	123
11	上本郷小学校	5,000	1,040	32	高塚新田北谷台第2	313	117
12	梨香台	13,000	5,000	33	八ヶ崎バレストタウン	130	59
13	五香六実一文字第一	5,000	864	34	高塚新田北谷台第3	485	182
14	金ヶ作西ヶ沢	1,000	2,000	35	金ヶ作陣屋前	145	144
15	常盤平	5,700	882	36	松戸新田陣ヶ前	2,569	626
16	五香六実一文字第二	8,300	3,540	37	河原塚宮ノ内	3,568	900
17	高塚新田	425	81	38	松戸白山	198	67
18	松戸新田第二市営住宅	160	360	39	紙敷(3号)	15,148	7,900
19	河原塚寺ノ台	5,200	928	40	紙敷(1号)	4,236	1,694
20	西馬橋	187	240	41	大橋	180	202
21	古ヶ崎	490	350		計	191,711	65,747

出典：松戸市のホームページ、平成23年4月現在

# 政策21

安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにします

2.水環境をよくします

## 1. 現況と課題

江戸川及び坂川流域では急激な都市化が進み、以前は汚濁や臭気の発生など河川の水環境が大きく悪化していました。このため行政（国・県・市）と地域住民が一体となった「水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンス21）」、「第二期水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンスⅡ）」により、国による「ふれあい松戸川」の整備や下水道事業等との連携などにより水環境の改善を進めてきました。なお、下水道利用率は、平成13年度に62.17%であったものが、23年度には、76.20%となっています。

千葉県に協力して進めている「坂川再生事業」では、小山から赤塚までの区間で、川沿いの歩道や川岸の整備、水辺に近づける工夫、植樹やレンガ橋の保存などを進めています。

河川水質の代表的な指標であるBODの推移をみますと、坂川流域では、平成13年度に5.9mg/lが23年度には5.3mg/lに、国分川流域では、15mg/lが9.2 mg/lになり、環境基準値の10mg/lを下回っています。

### 【特筆すべきニーズの変化】

- ① 生活排水が河川を汚す原因とならないことが望まれています（ニーズの増）
- ② 日常生活において川や水辺が憩いを与えてくれることが望まれています（ニーズの増）

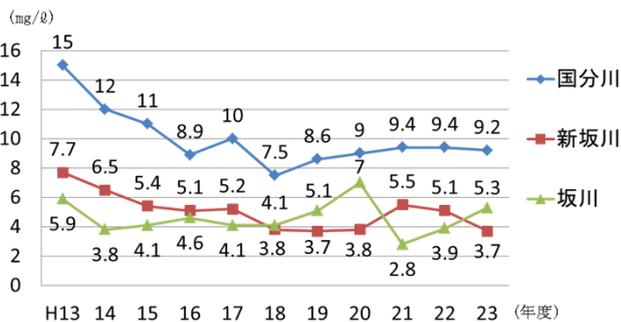
### ●親水マップ



### ●親水マップに掲載されている湧水等

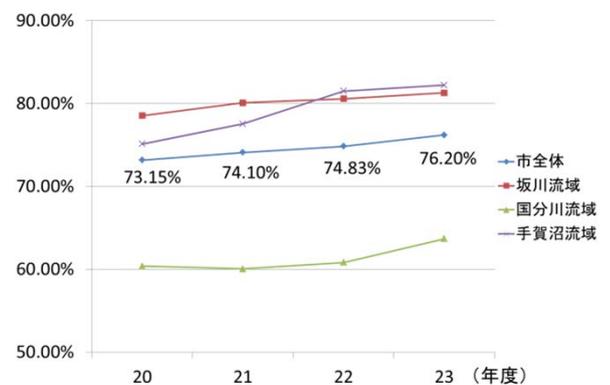
- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1.幸田湧水          | 13.宮ノ下湧水      |
| 2.富士川親水広場       | 14.川の一里塚(樋野口) |
| 3.新坂川親水護岸       | 15.竹ヶ花雷電湧水    |
| 4.川の一里塚(主水新田)   | 16.ふれあい松戸川    |
| 5.六間川桜並木        | 17.小山親水水路     |
| 6.旭町水辺広場        | 18.坂川再生事業区間   |
| 7.坂川親水プロムナード    | 19.国分川多自然護岸   |
| 8.新坂川緑道         | 20.坂川親水広場     |
| 9.大清水湧水         | 21.川の一里塚(矢切)  |
| 10.川の一里塚(古ヶ崎)   | 22.秋山湧水       |
| 11.千駄堀湧水広場      | 23.柳原親水広場     |
| 12.江戸川松戸フラワーライン |               |

### ●坂川・新坂川・国分川のBOD経年変化（75%値）



出典：環境の現状と対策

### ●河川流域ごとの下水道利用率の推移



出典：下水道整備課資料

## 2. 施策の展開方向

本市は、行政面積に対する河川の延長が県内で最も長い都市です。親水性に配慮した護岸を整備するとともに、環境学習などの市民参加による水辺活用プロジェクトを推進し、こうした豊かな水の資源を都市の魅力づくりに生かしていきます。

また、河川の水質保全や衛生的な生活環境の向上のため、普及率100%をめざして下水道施設の整備、普及を推進します。

さらに、市内河川にかつての清流を取り戻し、生態系の維持機能の向上を図るため、排水における水質の規制や河川愛護の啓発に努め、公共下水道整備とともに河川浄化施設による水質改善対策を推進します。

また、雨水の貯留や浸透による水源の確保や環境用水などの導入を図り、河川や湧水地の水量の確保に努めます。

## 3. 施策を推進していく上での課題

水環境の保全を図る上で、安定した河川水量の確保に努める。

### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 市内河川への導水、下水道の整備などにより、河川の水質改善を行っています(強み)
- ② 地下水や湧水地の保全に努め、河川流量を増やし、水環境を再生させるため雨水浸透ますの設置を推進します(強み)
- ③ 坂川河川網の水量は、主に国管理河川からのポンプによる導水により確保されています(弱み)

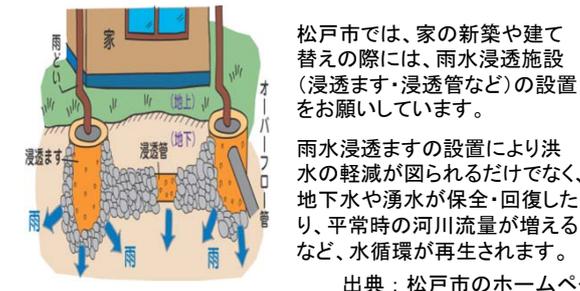
#### ●河川浄化施設と導水場所の位置



#### ●河川愛護団体活動マップ

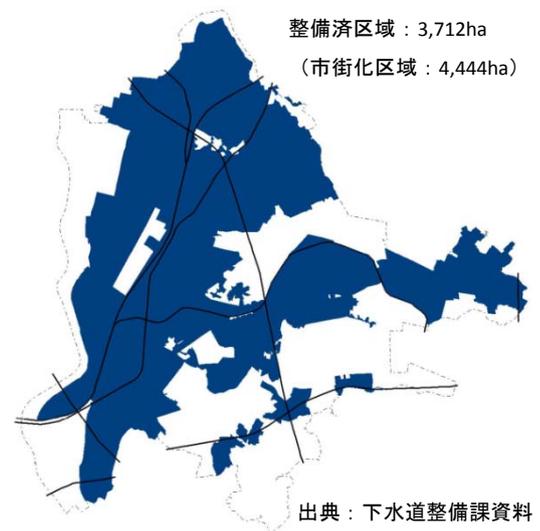


#### ●雨水浸透ますの設置について

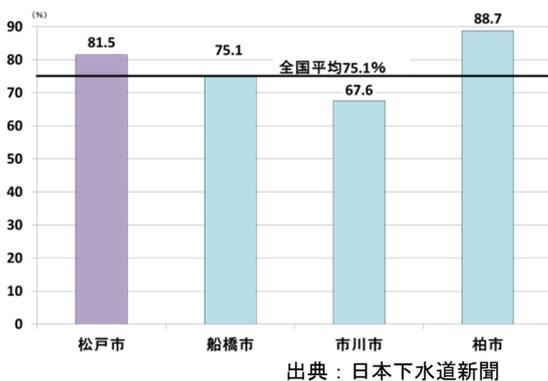


#### ●下水道整備済区域(平成23年度)

整備済区域：3,712ha  
(市街化区域：4,444ha)



#### ●下水道普及率の近隣市比較(平成23年度)



## 政 策 22

～いつでも安心して水道水が使えるようにします～

## 後期基本計画における「めざそう値」等一覧

### 【めざしたい将来像】

いつでも水道水が使えるために、災害に強い施設を整備することで、引き続き、安定した飲み水を実現していきます。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
	13年度	19年度	24年度	25年度	32年度
水道事業に満足している人の割合	—	—	—	34%	41%
	21.6%	—	28.4% (20年2月)	28.4% (20年2月)	

### 【めざそう値(32年度)設定の考え方】

平成19年度(28.4%)より年1ポイントの向上をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
	13年度	19年度	24年度	25年度	32年度
浄・配水施設の更新率	—	—	—	45%	78%
	—	11.0%	43.6% (21年3月)	43.6% (21年3月)	

### 【めざそう値(32年度)設定の考え方】

浄・配水施設の更新計画に基づき設定した値をめざす。

# 政策22

## いつでも安心して水道水が使えるようにします

### 1. 現況と課題

松戸市の上水道は、江戸川の表流水を水源とする千葉県営水道と、深層地下水及び北千葉広域水道企業団からの供給用水を水源とする松戸市営水道との、二つの水道事業体が供給しています。市営水道の給水区域は、小金地区・常盤平地区の2箇所、給水面積は、合計7.8平方キロメートルになっています。

市営水道が行っているアンケート調査によれば、「水道事業に満足している人の割合」は、平成13年度に21.6%であったものが、19年度には28.4%と高まっています。

なお、市営水道においては、平成20年度に第5次拡張事業が完了し、小金浄水場を新設したところです。現在は、長引く景気低迷の影響を受けての水需要・料金収入の減少、老朽管をはじめとする老朽施設への対応、地震・災害への対応等が課題となっています。

#### 【特筆すべきニーズの変化】

- ① いつでも水道水を安心して、おいしく、飲用や料理などにも使えることが望まれています（ニーズの増）
- ② 水道水以外のペットボトル飲料などを常時飲用する人が増えています（ニーズの減）

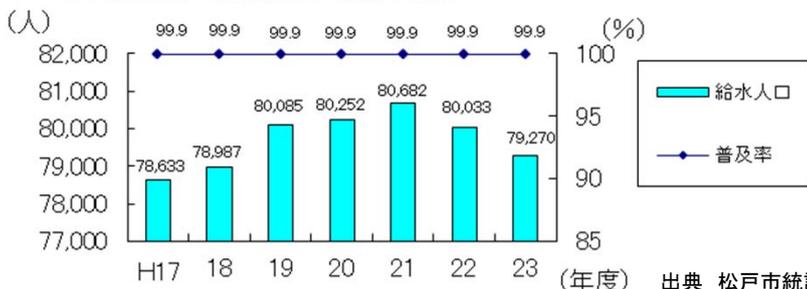
●松戸市営水道給水区域



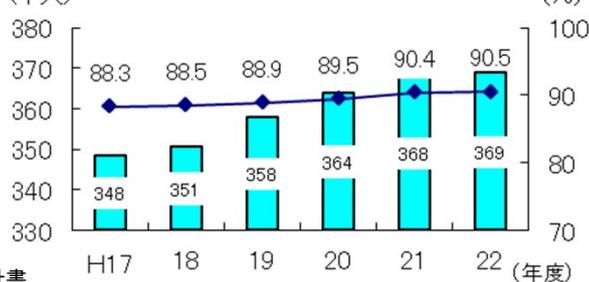
小金地区	
給水面積	6.1km <sup>2</sup>
給水戸数	25,884戸
給水人口	56,158人
一日平均給水量	15,363m <sup>3</sup>
一人一日給水量	272.8リットル
常盤平地区	
給水面積	1.7km <sup>2</sup>
給水戸数	12,010戸
給水人口	23,112人
一日平均給水量	6,121m <sup>3</sup>
一人一日給水量	264.1リットル

(H23. 3. 31現在)

●市水エリア 給水人口・普及率推移



●県水エリア 給水人口・普及率推移



一人あたり	市水エリア			一戸あたり (約2.2人)	県水エリア		
	1年間の使用水量	は、	単位		1年間の使用水量	は、	単位
	94		m <sup>3</sup>	197		m <sup>3</sup>	
	15,678		円	32,797		円	
	8		m <sup>3</sup>	16		m <sup>3</sup>	
	1,307		円	2,733		円	
	258		リットル	539		リットル	
	43		円	90		円	

出典 松戸市ホームページ H23年度決算データ

## 2. 施策の展開方向

水道事業の経営にあたり、経営目標である、「安全で良質な水の供給」、「安定給水の確保」、「サービスの向上と健全経営」を行うため、常に事業の見直し・精査を行ってまいります。

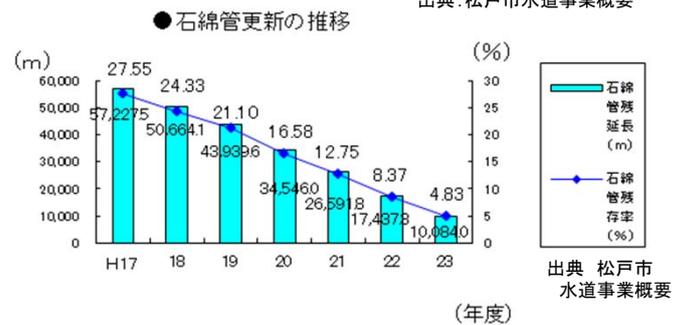
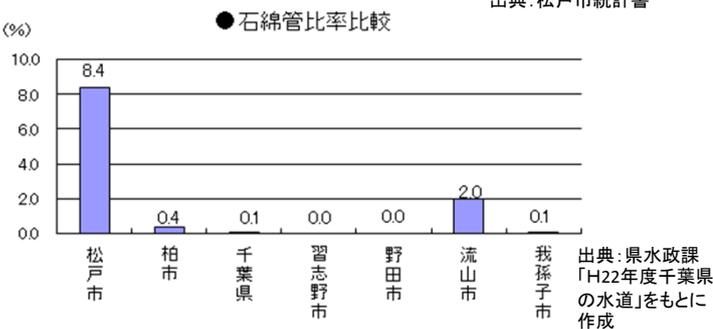
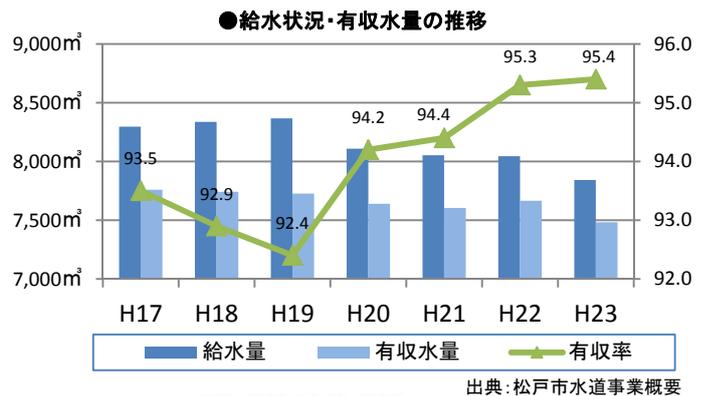
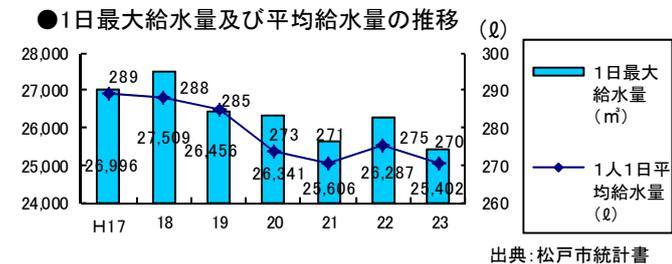
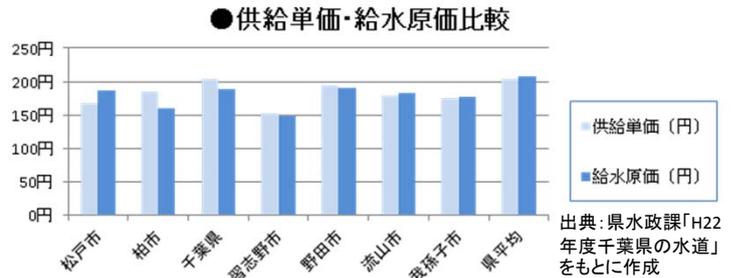
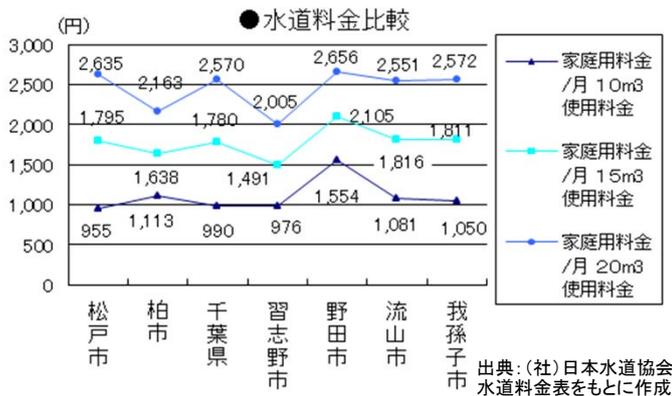
また、今後も耐震性の向上を図るため、耐用年数を迎える老朽管を始めとする浄・配水場の老朽施設を地震などの災害時にも水を確保できるよう、適切な耐震性能を有する施設へと、計画的に更新してまいります。

## 3. 施策を推進していく上での課題

少子高齢社会の進展、節水型製品の普及などから全国的に水需要が減少し、給水収益の増加が期待できない中で、引き続き経費の削減を図りながら、料金水準の見直しも視野に入れつつ、水道施設の更新に必要な財源をいかに生み出していくかが課題となっています。

### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 地下水55%なので、比較的好い水を供給できています（強み）
- ② 石綿管がまだ4.83%残っており、災害時におけるリスクが高くなっています（弱み）



### 【 小金浄水場施設概要 】

施設名	内 容	数量
配水池	容 量 3,480m³	1池
着水井・塩素混和池	着 水 井 30m³ 塩素混和池 160m³	1池
急速ろ過機	圧力式密閉型 処 理 水 量 3,800m³/日×2基	2基
管理棟	地下1階、地上2階建て 延 べ 床 面 積 921.72m²	1棟
機械電気設備	配水ポンプ設備・自家発電設備・ 電気室・薬品注入室・水質発信器室	1式

### 【 小金浄水場 】





## 第6節

### 「都市経営の視点に立った行財政運営」

多様化・高度化する市民ニーズに対して的確かつ迅速にこたえるため、効果的で効率的な行政運営を推進するとともに、財源の確保を図り、長期的な事業計画に基づき適正な財政運営に努めていきます。

さらに、近隣自治体との連携を高め、国、県、関係機関との強調も図りながら、市民、事業者、行政の強力なパートナーシップのもと、地方自治の確立に努めます。

～松戸市基本構想 施策の大綱～

# 政 策 23

## ～市民ニーズに基づく行政経営を行います～

### 後期基本計画における「めざそう値」等一覧

#### 【めざしたい将来像】

50万人になろうとする市民が、安心して住みやすく、満足してもらえるようなまちを実現します。そのため、継続的な対話を経た力強い連携から政策が生まれる仕組みづくりをし、経営基盤を強化します。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
住み続けたいと思う人の割合	—	62.0%	62.0%	—	62%	65%
	58.6%	58.2%	61.4%	64.8%		

#### 【めざそう値(32年度)設定の考え方】

21年度現状値に対して、5ポイント増をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
行政サービスの改善度	—	—	—	—	29.4%	35%
	—	—	26.8% (H21)	26.6%		

#### 【めざそう値(32年度)設定の考え方】

「市民意識調査」(平成21年度)の結果より、「以前より多少悪くなっている5.2%、以前より非常に悪くなっている1.9%」をなくすことをめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
後期基本計画のめざそう値の達成率	—	—	—	—	100%	100%
	—	—	—	—		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

計画書に掲載しているめざしたい将来像を実現するため、すべての指標について、めざそう値の達成をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
行政情報入手手段に係るホームページの割合	—	—	—	—	18%	25%
	4.8%	11.3%	20.5%	18.9%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

32年度で市民4人に1人がホームページから行政情報を入手することをめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
インターネットを利用している人の割合	—	—	—	—	65%	70%
	38.1%	61.3%	68.0%	64.0%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

市の施策により変動する性質の指標ではないが、総務省の同様の調査では人口利用率で75%を上回っていることや、現状値が第3次実施計画の目標値設定時の想定に近付いていることから設定した値をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
いきいきと働くことができています職員の割合	—	—	—	—	55%	60%
	—	—	49.2%	60.0%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

いきいきと働くことができています職員の割合を増やすことをめざす。

# 政策23

## 市民ニーズに基づく行政経営を行います

### 1.市民ニーズ等を把握し、総合計画を策定します

#### 1. 現況と課題

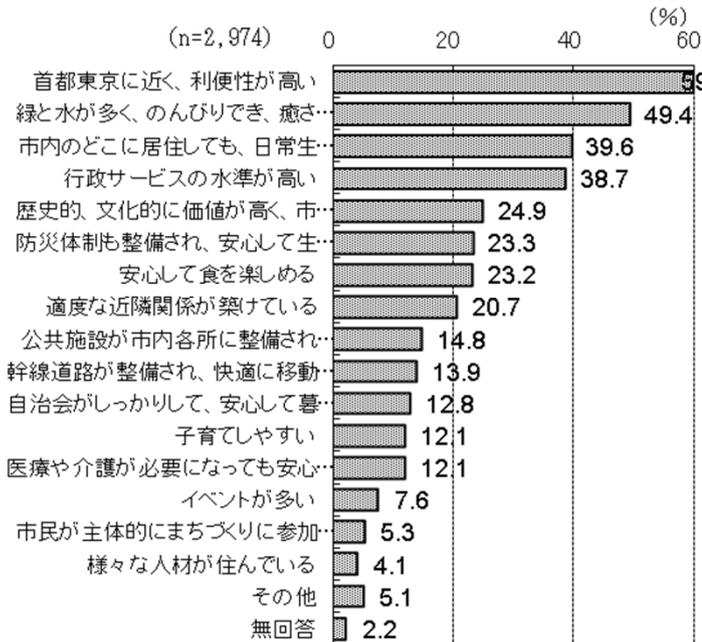
「後期基本計画づくりのための市民ニーズ調査（平成21年3月）」によれば、松戸市の良さベスト3は、「①首都東京に近く、利便性が高い」「②緑と水が多く、のんびりでき、癒される空間が多い」「③市内のどこに居住しても、日常生活の利便性が高い」です。また、まちづくりの方向性として望まれているのは、「①安心して医療が受けられる」「②緑花清流」「③バリアフリー」でした。

なお、広域行政については、政令指定都市に関し、東葛広域行政連絡会（6市）、東葛飾・葛南地域4市政令指定都市研究会など3つの研究会に属し、研究してきました。合併により、政令指定都市をめざすことのメリット・デメリットを市民と共有し、研究を続けることが課題となっています。

#### 【特筆すべきニーズの変化】

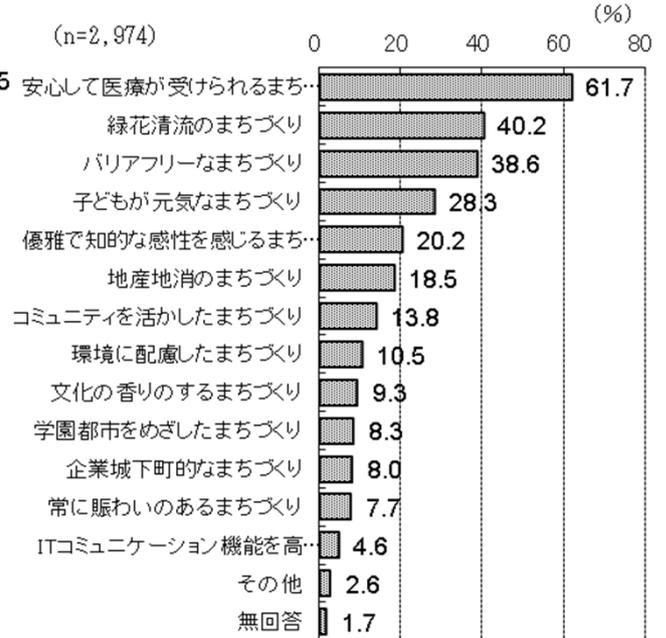
- ① 市民ニーズを把握し、市民本位の積極かつ誠実な行政運営が求められています（ニーズの増）
- ② 政令指定都市や中核市となることで財源が増え、必要なサービスが行き届いた暮らしやすい街になることが期待されています（ニーズの増）

#### ●松戸市の良さ・強み



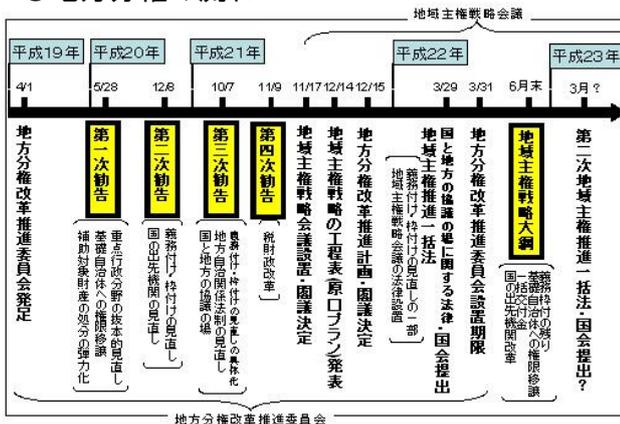
出典 松戸市総合計画第3次実施計画づくりのための市民ニーズ調査

#### ●まちづくりの方向性



出典 松戸市総合計画第3次実施計画づくりのための市民ニーズ調査

#### ●地方分権の流れ



#### ●主な統計

##### 〔基幹統計調査〕

- ・国勢調査
- ・工業統計調査
- ・商業統計調査
- ・教育統計調査（学校基本調査）
- ・全国消費実態調査
- ・就業構造基本調査
- ・住宅・土地統計調査
- ・農林業センサス
- ・経済センサス

##### 〔県指定統計調査〕

- ・市町村別・町丁字別人口調査
- ・千葉県毎月常住人口調査

出典 総務課資料

## 2. 施策の展開方向

基本計画の実現のため、財政的な裏付けをもたせた短期的な事業計画としての実施計画を策定します。実施計画は、選択と集中を明確にした戦略的な計画とします。また、基本計画の評価は、政策展開の方向に示すめざそう値の達成状況を中心に、適時、状況を把握し、評価していきます。実施計画については、計画事業以外の事業も含めて行政評価によりモニタリングを行い、計画期間満了後、達成状況を評価します。

なお、公共ニーズを充足する主体間の連携を高めるため、産学官で情報交換を行う場を設け、連携事業の可能性を検討していきます。

そして、地域主権改革の進展により、基礎自治体としての本市の役割は大きくなることから、その役割に見合った財政基盤の充実強化や広域的課題への取り組みについて、国・県へ要請していきます。また、広域行政については、引き続き、近隣市との連携や合併による政令指定都市移行などの研究を行い、広く議論するための情報を提供していきます。

## 3. 施策を推進していく上での課題

後期基本計画の推進にあたっては、市民と行政のそれぞれが後期基本計画に定めた役割をしっかりと果たしていくことが必要です。そのため、後期基本計画の進捗状況をできるだけ多くの市民や職員で確認し、その結果をそれぞれの活動につなげていくことが課題です。また、戦略計画の策定では、その手段となるサマリーレビューや行政評価などの仕組みが庁内に理解され、普及・定着していくことが課題になります。

**【特筆すべき松戸の強み・弱み】**

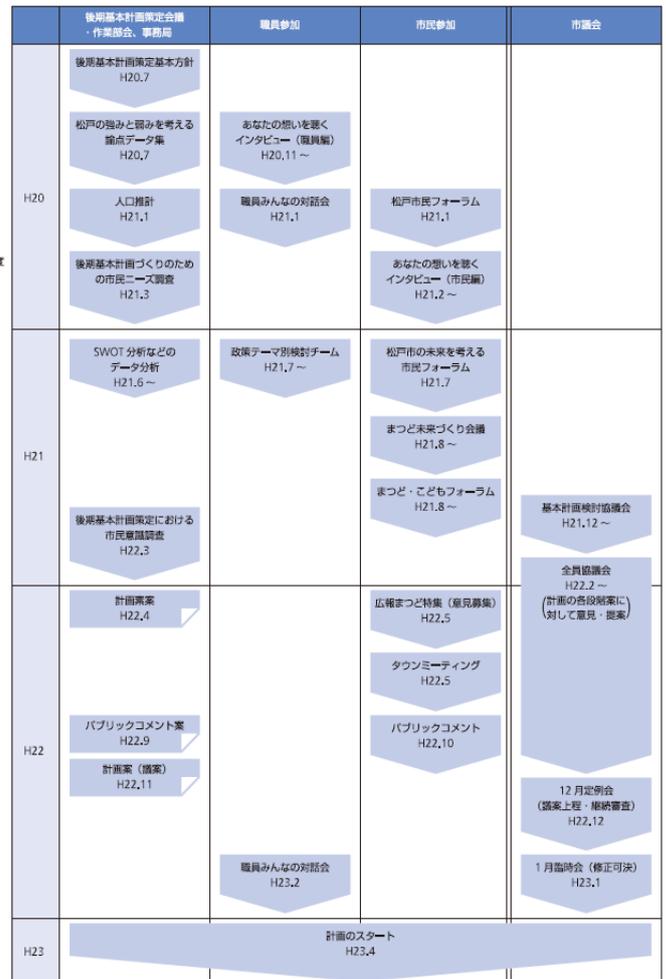
- ① 後期基本計画の策定などを通じ、市民・職員参加で行政経営を進めていくノウハウが蓄積されつつあります（強み）
- ② 東葛広域行政連絡協議会、千葉県北西部企画担当者連絡会など、近隣自治体と広域的な行政課題や都市制度等についての研究や情報交換を行う場があります（強み）

### ● 総合計画の3層構造



出典 松戸市総合計画後期基本計画

### ● 総合計画後期基本計画策定の流れ



出典 松戸市総合計画後期基本計画

### ● 広域連携や行政課題を研究する広域組織の概要

組織名称	設立	設置目的 (参加自治体)
東葛広域行政連絡協議会	昭和41年 3月	市行政の広域化の要請に対処し、業域行政計画の策定及びその広域処理を具体的に推進するため関係市が相互に連絡調整を図ることを目的とする。(柏市、野田市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、松戸市)
東葛飾・葛南地域市長懇話会	平成21年 6月	千葉県北西部に位置する東葛飾・葛南地域が首都圏において、これからも活力ある、かつ、魅力ある圏域として発展するために、市民生活の向上に資する広域的な連携を図ることを目的として、東葛飾・葛南地域市長懇話会を設置する。(市川市、船橋市、野田市、柏市、我孫子市、鎌ヶ谷市、松戸市)
千葉県北西部企画担当者連絡会	平成22年 11月	近隣各市が抱える共通の問題や広域的な課題について、各市企画担当者による情報交換をおこなうとともに、連携した取り組み等を提案し、経費の縮減や効率化・高度な住民サービス・より魅力的なまちづくりを実現することを目的とする。(市川市、船橋市、習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市、白井市、松戸市)

出典 政策調整課資料

# 政策23

## 市民ニーズに基づく行政経営を行います

### 2.行政活動を透明にします

#### 1. 現況と課題

行政経営において、市民参加をより一層進めるためには、これまで以上にわかりやすくタイムリーな市政情報の公開・提供をし、信頼関係を築くことが重要です。

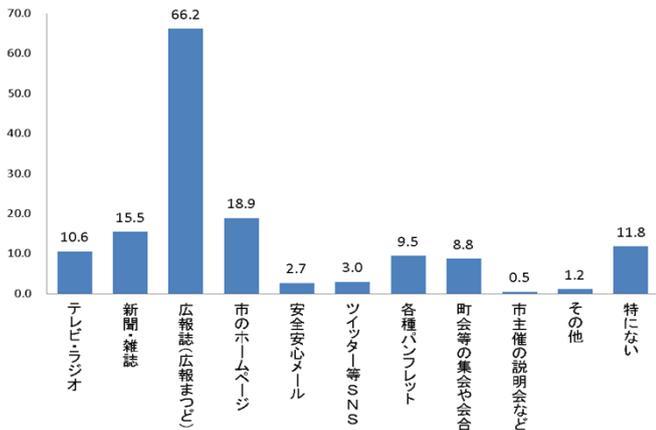
こうした中、本市では、広報紙の発行に加え、ホームページの開設、パートナー講座（出前）の開催など、わかりやすい情報提供をこころがけ、また、情報公開制度の整備、パブリックコメント手続の導入等の制度の充実を図ってきました。なお、パブリックコメントの実施件数は、平成23年度において6件になっています。

また、個人情報保護については、市民の重要な情報を預かる機関としての責任を果たすため、情報の流通や管理の形態の変化に合わせた対策づくりをしていく必要があります。

#### 【特筆すべきニーズの変化】

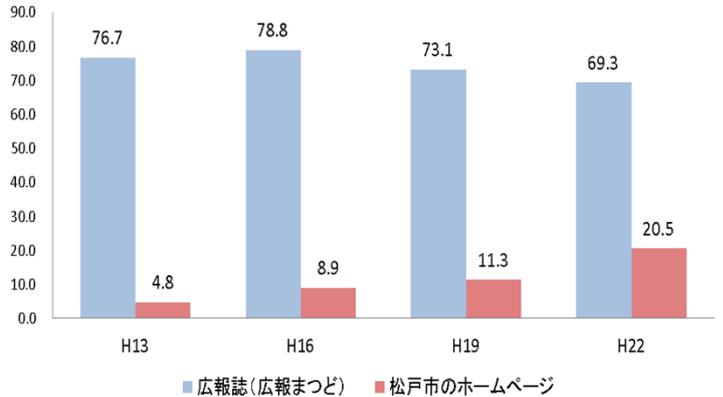
- ① 市政への参加を望む市民は、市の政策を検討するための基礎となる情報が入手しやすくなることを望んでいます（ニーズの増）
- ② 自治体の持つ個人情報を、災害時などに適切に活用することが求められています（ニーズの増）

#### ●行政情報の入手経路(平成24年度)



出典 松戸市市民意識調査(平成24年度)

#### ●行政情報の入手経路



出典 松戸市市民意識調査(平成24年度)

#### ●情報公開制度の利用状況(実施機関別)

	H19	H20	H21	H22	H23
市長	122	151	143	161	173
教育委員会	10	13	5	2	13
選挙管理委員会	1		1		1
公平委員会			1		
監査委員	1		1		
農業委員会	7		1	1	
固定資産評価審査委員会			1		
水道事業管理者	3	1	1	2	2
病院事業管理者		2		1	1
消防長	7	4	3	1	7
議会	6	3	5	2	1
合計	157	174	162	170	198

出典 総務課情報公開担当室資料

#### ●個人情報保護制度の利用状況(処理状況別)

	H19	H20	H21	H22	H23
開示決定	17	9	20	20	17
一部開示決定	9	14	20	17	14
非開示決定	3	7	12	14	11
取下げ	1	2	0	6	3
処理中	0	0	0	0	0
合計	30	32	52	57	45

出典 総務課情報公開担当室資料

#### ●松戸市ホームページトップ画面



## 2. 施策の展開方向

本市の活動状況をわかりやすく伝え、市民と行政の信頼関係を構築するため、広報まつどを定期的に発行するとともに、ホームページなどのインターネット技術を使っての情報提供を適時、行っていきます。また、市職員が出前で市政情報をお伝えするパートナー講座（出前）の充実や、よりわかりやすい説明になるよう工夫していきます。

また、情報公開制度を適切に運用し、透明性を確保するとともに、行政資料センターの情報内容の向上を図っていきます。

さらに、重要な政策の形成にあたっては、パブリックコメント制度をはじめ、市民会議などを適切に活用し、市民意見を的確に募集し、政策に反映するようにします。

## 3. 施策を推進していく上での課題

より効果的な情報提供のためには、市民が必要とする情報が的確に届いているか、市民がどのような情報収集手段を用いているか等、ニーズを把握・反映した広報が必要となっています。広聴分野との連携、一体化により、市民ニーズを反映した広報や政策づくりをより一層推進する必要があります。東日本大震災以降、自治体のソーシャルメディア活用が一般的になり、本市も積極的に導入していますが、同時にそれは情報格差の拡大につながるため、インターネット等を活用できない市民が情報にアクセスする仕組みづくりもあわせて取り組まなくてはなりません。

### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 情報公開、情報提供、意見募集に関してのツールや制度が充実しています（強み）
- ② 市民や企業等が必要としている情報と行政が提供する情報の間に、タイミングや内容のアンマッチが生じています（弱み）

### ●主なパートナー講座（出前）の開催状況 （参加人数上位5番目まで、平成14年度（導入年度）・平成23年度）

参加人数 順位	平成14年度				平成23年度			
	担当課名	講座名	開催回数	人数	担当課名	講座名	開催回数	人数
1	介護支援課	介護保険について	17回	530人	防災課	地震災害に対する備え	45回	2,583人
2	保健福祉課	健康について	8回	290人	介護支援課	介護予防推進担当室	18回	450人
3	環境計画課	ごみとリサイクルについて	10回	286人	保健福祉課	生活習慣病の予防について（メタボリックシンドローム・がんについて）	18回	364人
4	こども課	少年非行と家庭教育	4回	189人	介護支援課	高齢者の生活を支える介護・福祉制度について	16回	356人
5	救急防災課	火災原因別火災予防対策	3回	107人	生活安全課	防犯対策担当室	7回	172人

出典 市民環境本部企画管理室資料

### ●各市SNSの登録者 2012.8.15調べ

	松戸	船橋	市川	柏
twitter (フォロワー)	15,610	3,657	3,970	7,314
Facebook (いいね！)	821	未実施	783	未実施

出典 各市の開設ページ

### ●動画を活用した情報提供

松戸	Ustreamライブ配信
船橋	「ふなばしCITYNEWS」(CATV番組をホームページで)
市川	「いちかわインターネット放送局」
柏	「事業ごとにYoutubeを活用(ホームページに埋込)」

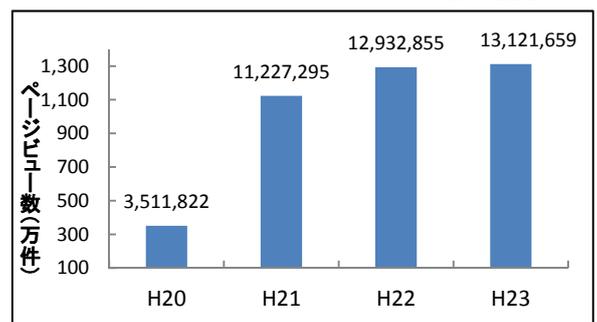
出典 各市ホームページ

### ●定例記者会見の公表状況

松戸	公表なし
船橋	会見資料をホームページで公表
市川	会見項目とその概要をホームページで公表
柏	公表なし

出典 各市ホームページ

### ●松戸市公式ホームページのページビュー数の推移



※H20.12.1より新システムに切り替えたため、H20年度のみ4ヶ月分の合計

出典 広報担当室資料

### ●パブリックコメント実施一覧

意見募集年度	政策案の名称	意見提出者数	意見件数
H21	① 松戸市商業振興条例	0	0
	② 松戸市次世代育成支援行動計画(後期計画)	2	6
H22	① 松戸市総合計画後期基本計画	6	13
	② 松戸市地域防災計画	3	8
	③ 松戸市景観計画・松戸市景観条例	3	6
	④ 住生活基本計画	4	19
H23	① 松戸市空き家等の適正管理に関する条例	1	8
	② (仮称)松戸市暴力団排除条例の骨子	0	0
	③ 第6期松戸市高齢者保健福祉計画および第5期松戸市介護保険事業計画	4	15
	④ 新松戸地域学校跡地有効活用基本計画	18	99
	⑤ 松戸市障害福祉計画(第三期)	3	7
	⑥ 「平成23年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価(案)」及び「平成24年度の目標及びその達成に向けた活動計画」	0	0

出典 政策調整課資料

# 政策23

## 市民ニーズに基づく行政経営を行います

### 3.人材や情報システムを活用し、生産性の向上を図ります

#### 1. 現況と課題

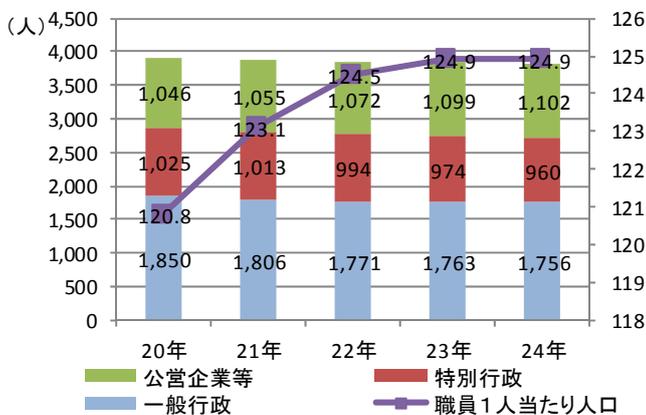
行政経営の生産性をはかる指標の1つに、職員1人当たりの人口があります。公営企業を除き比較すると、本市は近隣市よりも少ない職員数でサービスを提供しています。しかし、平成18年に「行政改革推進法」が制定されるなど、更なる改革が望まれています。

また、情報システムについては、業務の効率性を向上させる目的で、住民基本台帳をはじめとする基幹系システムの整備、情報系ネットワークの整備などを行ってきました。一方、近年のICT革命においては、行政の効率を高めることだけでなく、住民生活が直接便利になるようなICT活用も期待されております。

#### 【特筆すべきニーズの変化】

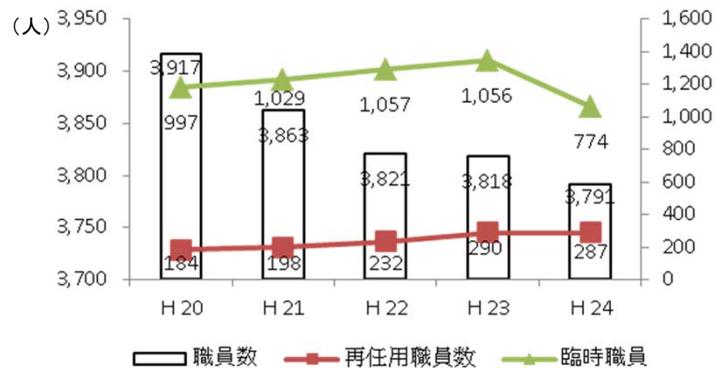
- ① 手軽に、便利に行政サービスを利用できるようにすることが望まれています（ニーズの増）
- ② できるだけ少ない職員で、一定の行政サービス水準を達成することが望まれています（ニーズの増）

●職員数と職員1人当たりの人口(各年4月1日現在)



出典 総務企画本部企画管理室資料

●職員数と再任用職員数・臨時職員数(各年4月1日現在)



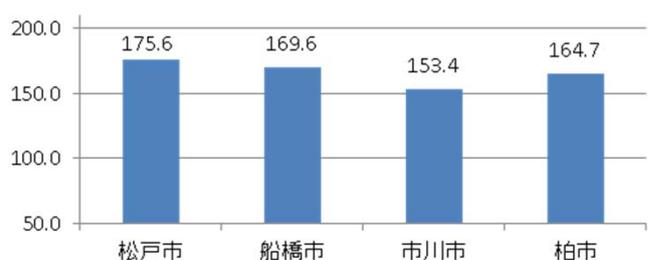
出典 人事課資料

●職員数と職員1人当たりの人口(平成24年4月1日現在)

	一般行政		特別行政		一般・特別行政計		公営企業等		合計	
	職員数(人)	職員1人当たりの人口(人)	職員数(人)	職員1人当たりの人口(人)	職員数(人)	職員1人当たりの人口(人)	職員数(人)	職員1人当たりの人口(人)	職員数(人)	職員1人当たりの人口(人)
松戸市	1,756	271.6	960	496.8	2,716	175.6	1,102	432.8	3,818	124.9
船橋市	2,397	251.6	1,158	520.7	3,555	169.6	904	667.0	4,459	135.2
市川市	2,051	223.6	940	488.0	2,991	153.4	300	1528.9	3,291	139.4
柏市	1,636	242.2	770	514.6	2,406	164.7	217	1826.0	2,623	151.1

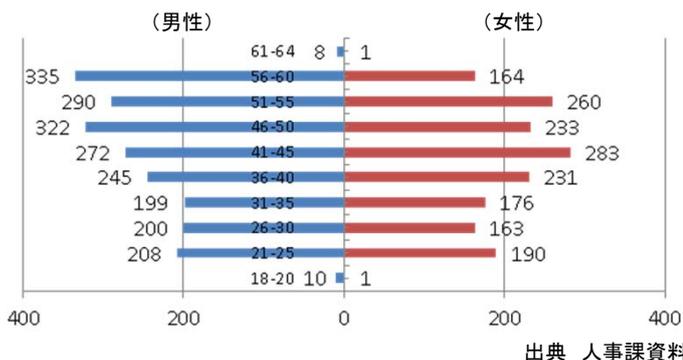
出典 総務企画本部企画管理室資料

●一般・特別行政職員1人当たりの人口



出典 総務企画本部企画管理室資料

●年齢階層別職員数(平成24年4月1日現在)



出典 人事課資料

●よくある質問(FAQ)ホームページ



出典 松戸市FAQ検索サイト

## 2. 施策の展開方向

地域主権政策が推進されているなか、より一層、地方自治体の「自己決定・自己責任の原則」が徹底され、経営責任が問われる時代となります。多様化する行政需要に、より少ない職員数で、効率的に対応するため、行政評価などを通して、事務事業を点検します。そして、民間事業者を活用したり、市民との役割分担を見直すなかで、行政が行うべき事業を選択し、経営資源の集中を図ります。

また、組織機構については、行政需要に柔軟に対応し、市民にわかりやすく、的確に市民に向き合えるように見直しを図ります。

複雑化、高度化した様々な課題に対応できる高度な知識・能力を備えた人材の育成をめざします。特に、今後の施策展開にあたっては、市民と行政が協働して推進する場面が増えていくことから、わかりやすい説明ができ、様々な場面で話し合いを行う上で必要なノウハウをもった職員を増やします。また、新しい公共経営を担えるマネジメント能力をもった幹部職員を育成します。

本市情報システムは、これまでも「情報システム最適化計画」などに則り、その整備と構築に努めてきましたが、日々進化するICTに対して、常に敏感に適応する必要があります。そのため、新たな情報政策の全体計画を整備し、行政情報の電子的な提供を図るなど、電子的な市民サービスを向上するとともに、行政内部の事務のより一層の効率化を推進していきます。また、情報システムの運用については、地域情報プラットフォームの導入や、外部情報資産の活用なども視野に入れ、効率化を図ります。

## 3. 施策を推進していく上での課題

簡素で効率的・効果的な行政体制の整備を積極的に進めながら、政策立案能力を高め、戦略的に執行できる体制を構築し、新たな市民ニーズに対応できる職員のやる気や能力を活かせる組織づくりが課題となっています。

### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 行財政改革、民間活力の導入、情報システムを活用した効率化などの実績があります（強み）
- ② 職員の年齢構成が歪み、ノウハウの継承が困難になっています（弱み）

#### ●松戸市人材育成基本方針〔平成23年4月改定〕「求められる職員像」 求められる職員像

I わかりやすい説明ができ、様々な場面で話し合いを行う上で必要なノウハウをもった職員

II 新しい公共経営を担えるマネジメント能力をもった職員

出典 人事課資料

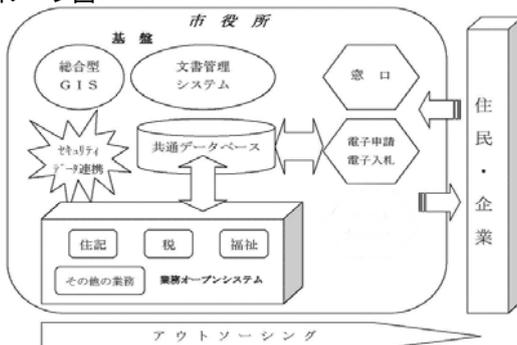
#### ●すぐやる課への要望状況（平成23年度）

要望の種類	件数
土木関係	678
清掃関係	270
動物関係	1,491
その他	206
合計	2,645



出典 表 =松戸市ホームページ  
写真 =政策調整課広報担当室資料

#### ●松戸市情報システム最適化基本計画のイメージ図



出典 IT推進課資料

#### ●職員研修参加状況

区分	研修内容	H19	H20	H21	H22	H23
基本研修	役職及び勤務年数等に応じた基本的な知識・技能の習得	579	798	672	811	777
特別研修	特定の行政課題に対応するために必要な知識・技能の習得	1,618	995	859	1,146	909
実務研修	実務遂行に必要な知識・技能の習得	376	400	439	299	420
派遣研修	職務の専門的かつ総合的な知識・技能の習得のための専門機関への派遣	426	453	383	340	364
合計		2,999	2,646	2,353	2,596	2,470

出典 人事課資料

#### ●主な委託実施済項目

- ・一般ごみ収集業務
- ・し尿収集業務
- ・庁舎清掃・夜間警備業務
- ・学校給食調理業務
- ・広報紙編集業務
- ・郵便(文書集配)業務
- ・庁舎案内・電話交換業務
- ・公用車運転業務
- ・職員厚生業務
- ・公立保育所運営委託

#### ●主な指定管理者制度導入施設

- ・市民センター(17箇所)
- ・勤労会館
- ・小金原体育館ほか2体育館
- ・自転車駐車場(55箇所)
- ・青年館(3箇所)
- ・文化会館
- ・市民劇場
- ・北山会館(斎場)業務
- ・まつど市民活動サポートセンター

出典 松戸市集中改革プラン等をもとに作成

#### ●インターネットでできる主なサービス

- ・施設予約(森のホール21)(平成13年度～)
- ・例規集検索(平成14年度～)
- ・市議会会議録検索(平成14年度～)
- ・掲示板(意見交換・情報交換)(平成15年度～)
- ・インターネット相談(平成15年度～)
- ・インターネットアンケート(平成15年度～)
- ・申請書等ダウンロード(平成16年度～)
- ・図書館蔵書検索・予約(平成16年度～)
- ・インターネット議会中継(平成17年度～)
- ・電子入札(平成18年度～)
- ・インターネット公売(平成19年度～)
- ・マルチペイメント(平成20年度～)
- ・電子申告(平成20年度～)
- ・電子申請(平成21年度～)
- ・施設予約(スポーツ施設・市民センター等、平成21年度～)
- ・SNSによる情報提供(平成23年度～)

出典 IT推進課資料

# 政 策 24

～財源、財産を適正に管理し、配分します～

## 後期基本計画における「めざそう値」等一覧

### 【めざしたい将来像】

市民ニーズに弾力的に応えられる活力に満ちた松戸市となるために、発展性のある健全な財政運営を実現します。そのために、将来を見越して、社会資源の有効活用を図りつつ、柔軟かつ大胆な発想で歳入・歳出とも不断の見直しを行います。

上段：めざそう値(目標) 下段：実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
財政力指数	—	0.886	0.950	—	0.980	1.050
	0.886	0.963	0.905	0.883		

### 【めざそう値(32年度)設定の考え方】

本市の過去の財政力指数の最高値をめざす。  
(平成3年度 1.053)

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
経常収支比率	—	85.0%	89.0%	—	90%	85%
	86.4%	92.1%	90.2%	90.0%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

今後の社会情勢から歳出構成を考慮すると、厳しい値であるが、高い目標を掲げ今後も適正な財政運営をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
自主財源比率	—	71.5%	71.5%	—	70%	70%
	67.0%	72.6%	60.8%	58.6%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

今後の経済情勢を考慮すると、厳しい値であるが、高い目標を掲げ、引き続き市税を中心に自主財源の確保をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
将来負担比率	—	—	—	—	40%	35%
	—	30.1%	26.4%	13.6%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

健全な財政を維持しつつ活力ある松戸市とするため、まちづくりにも対応した値をめざす。

# 政策24

## 財源、財産を適正に管理し、配分します

### 1.財源を確保し、有効に配分します

#### 1. 現況と課題

先の見通しが立たない経済情勢にあって、本市財政運営は厳しい局面にあります。  
 財政健全化法に基づく、健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）は、大幅に早期健全化基準を下回っており、健全な状況にあります。

しかしながら、財政構造の弾力性を示す「経常収支比率」は、平成13年度に86.4%であったものが、平成23年度には90.0%まで上昇しています。一般的には、建設事業等に一定の財源を振り向けるためには、経常収支比率は、70～80%の範囲にあることが望ましいと言われています。

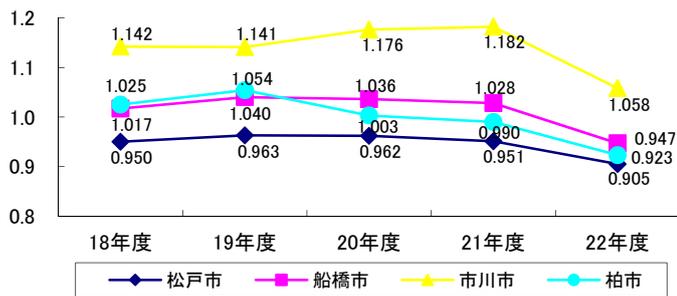
なお、自主財源比率については、平成13年度に67.0%であったものが、19年度は72.6%になりましたが23年度には58.6%となり、再び低下しています。

また、本市の市民一人当たりの市税収入は、平成23年度140,513円であり、近隣の市川市、船橋市、柏市と比較して、約1割低くなっています。こうした担税力からも、さらなる行財政改革を続ける必要があります。

#### 【特筆すべきニーズの変化】

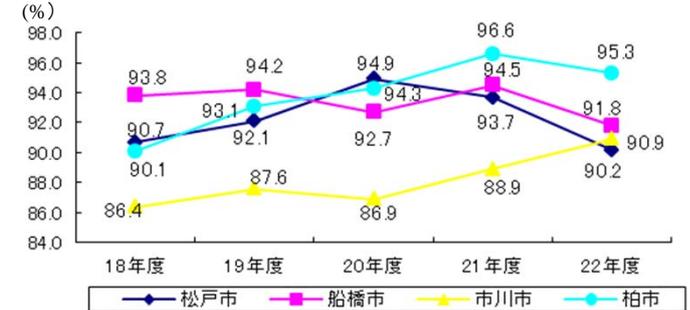
- ① 将来への負担を軽減し、財政力に見合った行財政運営を行うことが求められています（ニーズの増）
- ② 市税の収納率をより向上させて、税負担の公平性を確保することが求められています（ニーズの増）

#### ●財政力指数(他市比較・経年変化)



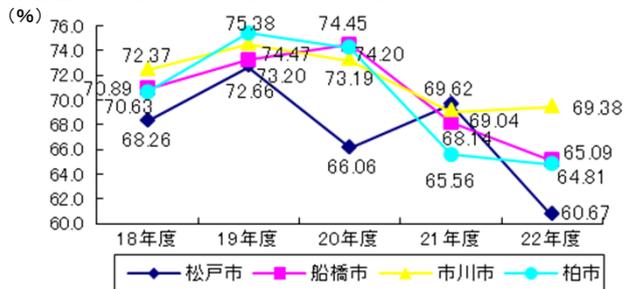
出典 松戸市の財政状況[平成22年度決算版]をもとに作成

#### ●経常収支比率(他市比較・経年変化)



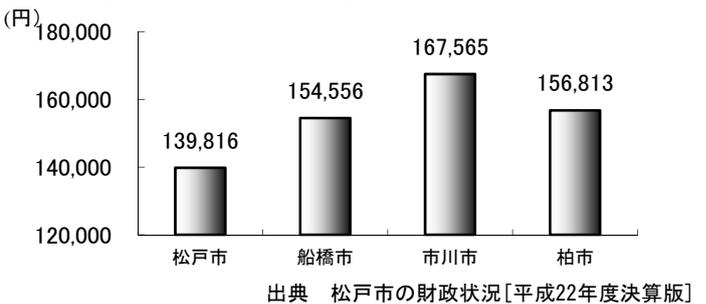
出典 松戸市の財政状況[平成22年度決算版]をもとに作成

#### ●自主財源比率(他市比較・経年変化)



出典 松戸市の財政状況[平成22年度決算版]をもとに作成

#### ●1人当たり市税収入の近隣市との比較(平成22年度)

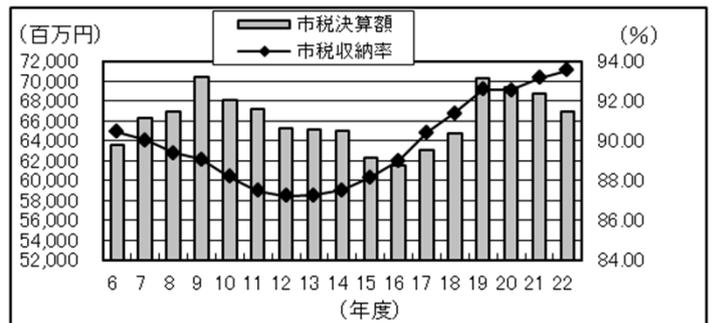


出典 松戸市の財政状況[平成22年度決算版]

#### ●市税決算額と収納率

(単位：千円、%)

年度	決算額	収納率		合計
		現年度分	過年度分	
6年度	63,570,424	96.96	17.06	90.47
7年度	66,355,723	96.91	16.69	90.03
8年度	66,957,630	96.90	15.88	89.38
9年度	70,491,875	96.77	15.57	89.08
10年度	68,107,893	97.21	13.90	88.21
11年度	67,198,662	97.16	11.88	87.48
12年度	65,249,824	97.14	13.70	87.23
13年度	65,148,050	97.20	13.14	87.25
14年度	64,993,124	97.48	13.75	87.52
15年度	62,304,177	97.61	16.63	88.17
16年度	61,487,094	97.90	18.01	89.01
17年度	63,082,903	98.30	18.41	90.43
18年度	64,745,563	98.13	17.83	91.38
19年度	70,361,199	97.97	21.90	92.60
20年度	69,447,577	97.77	20.23	92.57
21年度	68,819,413	97.99	24.96	93.18
22年度	66,969,854	98.24	27.20	93.55



出典 松戸市の財政状況[平成22年度決算版]

## 2. 施策の展開方向

平成19年に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が成立し、平成20年度決算から新たな健全化判断基準と再生判断基準が適用されました。本市においては、これまでも「松戸市行財政改革計画」などにより取り組んできましたが、行財政改革の一層の推進が必要とされています。

また、市税の収納率向上に向けた取り組みとして、差し押えた不動産の公売を行うなどのほか、市税以外の各種料金等についても税と一元的な滞納管理を行うとともに、担税力の強化を図ることにより歳入の確保を図ります。

歳出については、義務的経費の増加を極力抑制しつつ、選択と集中により、限られた投資的経費を有効活用し、最大の効果があがるよう不断の見直しを行います。

なお、基本計画に掲げられた施策を個別事業にまとめ、財政的な裏づけをもたせた実施計画を着実に推進するため、毎年、中期的な財源推計を行いながら、事務事業を見直し、計画的な財政運営を行ってまいります。

## 3. 施策を推進していく上での課題

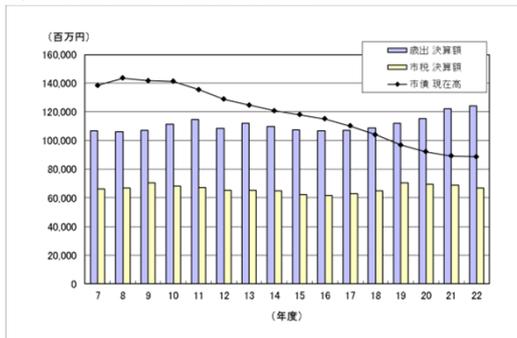
財源の有限性を今一度認識し、施策の選択と集中にあたっては、事業効果等の検証は当然のことながら、優先度、緊急度など、従来にも増した施策の評価が必要となってきます。

その中で、健全財政を維持しつつ、新しい市民ニーズに応えていくためには、歳出構造を再構築するなどし、財政構造の弾力性を取り戻すことが課題となっています。

### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

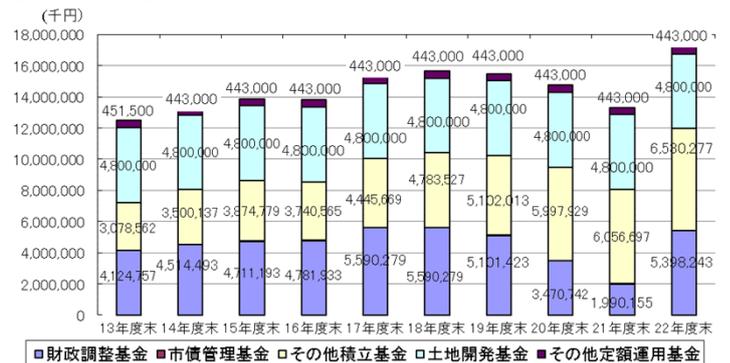
- ① 市債現在高を減少させ、実質公債費比率を抑えて低下させています（強み）
- ② 1人当たり市税収入額が他市に比べて低くなっています（弱み）
- ③ 滞納整理強化により、その方策やノウハウが充実しています（強み）

#### ●市債現在高の推移（一般会計）



出典 松戸市の財政状況[平成22年度決算版]

#### ●基金の状況



出典 松戸市の財政状況[平成22年度決算版]

#### ●種類別の契約金額の推移（建設工事のみ）



出典 契約課資料をもとに作成

#### ●財政健全化法における各指標の基準(%)

(指標)	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	公営企業における資金不足
早期健全化基準	11.25	16.25	25	350	
財政再生基準	20	30	35		
経営健全化基準					20

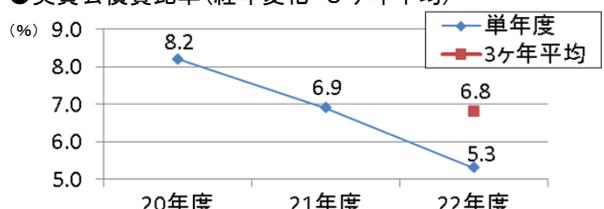
出典 総務省通知をもとに作成

#### ●実質収支比率（経年変化）



出典 決算状況(各年度版)をもとに作成

#### ●実質公債費比率（経年変化・3ヶ年平均）



出典 松戸市の財政状況[平成22年度決算版]をもとに作成

# 政策24

## 財源、財産を適正に管理し、配分します

### 2. 財産を管理し、有効な活用を図ります

#### 1. 現況と課題

本市においては、昭和40年代から50年代にかけて、公共施設を市内各所に整備してきました。こうした公共施設が、建築年から相当年数を経過し、修繕や耐震化、建替え等への対応が課題となっています。

なお、市民意識調査によると、「市役所・支所を不便に感じている人の割合」は、平成21年度の37.0%から、24年度は33.5%と減少は見られますが、より使いやすい施設に改善していくことが、課題となっています。

#### 【特筆すべきニーズの変化】

- ① 老朽化した公共施設の再編・整備が必要であると思われています（ニーズの増）
- ② 遊休財産については、有効利用又は処分をして欲しいと思われています（ニーズの増）

#### ●平成21年度末のバランスシート(貸借対照表)簡略版

借方		貸方	
<b>資産合計</b>	<b>297,017,613</b>	<b>負債合計</b>	<b>133,252,645</b>
流動資産 (現金、財政調整基金など)	11,797,733	流動負債 (1年内償還予定地方債など)	11,788,579
有形固定資産	257,005,456	固定負債 (地方債など)	121,464,066
物品 (器具備品など)	2,031,286		
普通財産 (建物、土地)	10,132,871		
行政財産 (建物、土地)	244,526,152		
建設仮勘定	315,147		
投資その他の資産 (投資及び出資金、財政調整基金以外の基金など)	28,214,424		
		<b>正味財産合計</b>	<b>163,764,968</b>

#### ●主な公共施設(施設名・建築年度)

施設名	建築年度	施設名	建築年度
市役所本館	昭和34	常盤平市民センター	昭和47
市役所新館	昭和45	東部市民センター	昭和48
市役所別館	昭和57	総合市民センター	昭和49
市役所議会議場	昭和53	小金原市民センター	昭和50
常盤平支所	昭和47	古ヶ崎市民センター	昭和51
小金原支所	昭和50	馬橋市民センター	昭和51
六美支所	昭和54	五香市民センター	昭和52
馬橋支所	平成23	明市民センター	昭和53
新松戸支所	昭和56	小金市民センター	昭和53
矢切支所	昭和57	六美市民センター	昭和54
東部支所	昭和58	新松戸市民センター	昭和56
小金支所	平成4	馬橋東市民センター	昭和57
六和クリーンセンター(松戸市清掃工場)	昭和51	小金北市民センター	昭和58
クリーンセンター(第2松戸市清掃工場)	昭和55	松飛台市民センター	昭和59
東部クリーンセンター	昭和55	二十世紀が丘市民センター	昭和60
日暮クリーンセンター	昭和62	八柱市民センター	昭和63
和名ヶ谷クリーンセンター(第3松戸市清掃工場)	平成7	八ヶ崎市民センター	平成3
小金原体育館	昭和59	北山市民会館・斎場	昭和48
常盤平体育館	昭和61	衛生会館	昭和51
榎ノ木台公園体育館	平成11	女性センターゆづりまど	昭和55
松戸運動公園体育館	昭和49	勤労会館	昭和55
松戸運動公園陸上競技場	昭和51	市民会館	昭和59
松戸運動公園武道館	昭和46	市民劇場	昭和55
松戸運動公園野球場	昭和46	森のホール21(文化会館)	平成5
松戸運動公園プール	昭和46	市立図書館本館	昭和48
新松戸プール	昭和56	博物館	平成4
栗ヶ沢公園庭球場	昭和46	戸定歴史館	平成3
金ヶ作公園庭球場	昭和48	青少年会館	昭和50
東部スポーツパーク	昭和54	総合福祉会館	昭和50
クリーンセンター内スポーツ施設	昭和55	まど市民活動サポートセンター	昭和49
和名ヶ谷スポーツセンター	平成7	新松戸未来館	平成21
パークセンター(21世紀の森と広場)	平成5	健康福祉会館	平成10

出典 松戸市の貸借対照表[平成21年度末版]をもとに作成

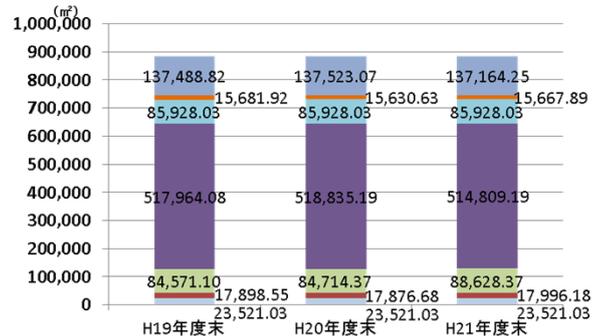
出典 管財課資料をもとに作成

#### ●車両種別台数(台)

車種	H19.3末	H20.3末	H21.3末	H22.3末	H23.3末	H24.3末
乗用車	23	24	26	28	25	25
軽自動	121	124	126	148	154	152
貨物車	97	99	94	72	67	64
原付バイク			5	5	5	5
乗合自動車	9	9	8	8	8	8
特種車(一般用途)	14	13	15	14	12	12
特種車(消防用途車)	34	35	33	35	35	35
消防車	76	75	75	71	71	71
救急車	14	13	13	14	13	13
特殊作業車	7	16	16	17	16	16
合計	395	408	411	412	406	401

出典 管財課資料をもとに作成

#### ●行政財産(建物)の用途別延べ面積



出典 財産に関する調査(各年度版)をもとに作成

#### ●市が保有し、管理する道路および橋梁の状況

道路			
市道	延長(m)	面積(m <sup>2</sup> )	
供用	1,089,103	6,846,163	
未供用	16,475	—	
計	1,105,578	6,846,163	

橋梁			
永久橋	橋数	延長(m)	面積(m <sup>2</sup> )
	336	5,571	41,524

貸借対照表日現在の道路・橋梁等のインフラ資産にかかる累積投資額の金額

用地取得	36,584,910
用地取得以外	155,328,161

出典 松戸市の貸借対照表[平成21年度末版]をもとに作成

## 2. 施策の展開方向

市の様々な財産を、適正に管理するとともに、その資源を活かし有効かつ効率的に運用していきます。また、公会計による財務4表(貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書)の整備を進め、市の財産の現状を広く公開していきます。

行政目的としての役割が終了した財産(土地等)については、売却も含め、有効的な活用を図ります。その他、行政目的として先行取得した土地については、その事業の方向性も含め、有効活用を検討します。

耐震性が不足している公共施設については、「松戸市立小学校及び中学校施設等耐震改修基金」などの有効活用を図り、計画的な修繕・耐震化を進めていきます。

本計画の計画期間である平成32年度以降には、人口急増期に建設した公共施設が、次々に50年以上を経過することから、適切な維持管理により延命化を図りつつ、今後の市民ニーズの変化も見越した中で、市民意見を聴きながら、公共施設の再編に向けたプランづくりを行います。

## 3. 施策を推進していく上での課題

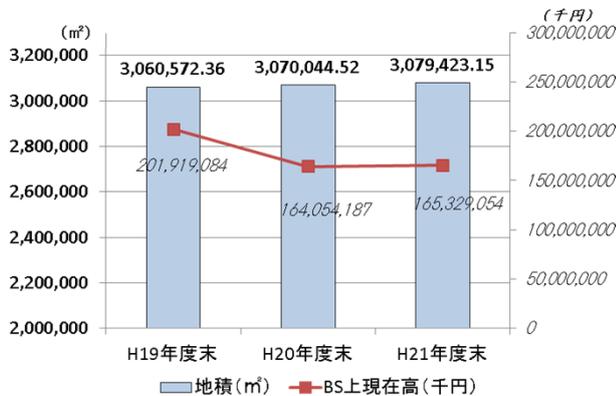
財政改革計画などに基づいて負債の圧縮に努めてきたことにより、他市と比べても過度に負債に依存することのない行政運営を行っていますが、今後は、世代間の負担バランスを考慮しつつ、適切な社会資本への投資を図っていく必要があります。

行政目的としての役割が終了した財産(土地等)は普通財産として管理することとなりますが、有効的な活用が図れない場合には、最低制限価格を設定し一般競争入札により売却処分を行っております。しかし、市有地の売り払いを実施しても入札応募がない場合もあり、必ずしも処分がスムーズに進まないのが現状です。老朽化した建物については、売却が見込めないため建物を取壊し、土地のみを売却することが考えられますが、取壊し費用が多額であるなどの問題もあります。

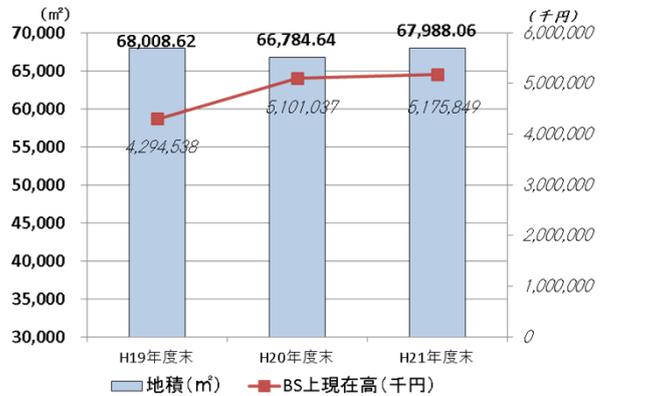
### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 公共施設が老朽化しており、将来的に修繕・再建築などの投資が必要となります(弱み)
- ② 市内に公共施設が充実していることから、既存の施設を活用した新たな公共サービスの展開を図る基盤があります(強み)

●行政財産(土地)の地積及びバランスシート上の現在高



●普通財産(土地)の地積及びバランスシート上の現在高



●行政財産(建物)のバランスシート上の現在高



●普通財産(建物)の延べ面積及びバランスシート上の現在高

